

自治会・町内会区における
福祉活動の実施状況調査
結 果

《平成28年3月》

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
地域福祉推進委員会
地域福祉課題提言部会

自治会・町内会区における福祉活動の実施状況調査 実施概要

調査の目的

本調査の目的は、「自治会・町内会区域における福祉活動の実施に向けた提案」作成の基礎資料とするために、山口県内の自治会・町内会区域において取り組まれている、自治会福祉部を中心とする小地域福祉活動の実態を把握する。

調査の名称

自治会・町内会区域における福祉活動の実施状況調査（２種類）

- (1) 自治会福祉部活動実態調査
- (2) 自治会・町内会区における福祉活動に関する実態調査

(1) 自治会福祉部活動実態調査

調査対象

山口県内の自治会福祉部

※「平成 27 年度地域福祉活動実態調査」で確認された、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、周防大島町、田布施町の自治会福祉部。

配票回収数

配票 193 票、回収数 153 票、回収率 79.2%

(配票内訳) 下関市 52/宇部市 12/山口市 12/萩市 23/岩国市 1/
長門市 60/周防大島町 22/田布施町 11

調査実施方法

市町社協から当該市内の自治会福祉部に配布し、返信用封筒により県社協が回収した。

調査実施時期

9 月上旬に県社協から当該市町社協へ調査票を配布し、回答期限を 10 月 2 日とした。

(2) 自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査

調査対象

平成 27 年度山口県自治会連合会研修会に参加した地区連合自治会長

配票回収数

配票 70 票、回収数 38 票、回収率 54.2%

調査実施方法

山口県自治会連合会研修会の参加者に配布し、返信用封筒により県社協が回収した。

調査実施時期

10 月 15 日に開催された、平成 27 年度山口県自治会連合会研修会で配布し、回答期限を 10 月 23 日とした。

1 自治会福祉部活動実態調査

「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

《調査の概要》

調査実施主体: 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

調査時期: 2015(平成27)年9月

調査方法: 当該市町社協による配布、返信用封筒による回収

調査対象: 山口県内の自治会福祉部

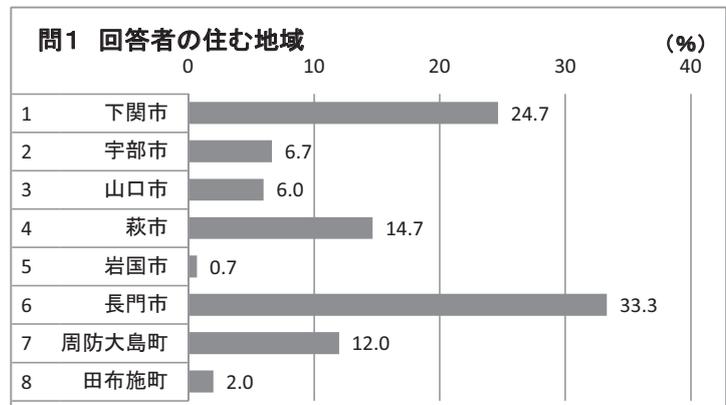
※「平成27年度地域福祉活動実態調査」で確認された、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、周防大島町、田布施町の自治会福祉部。

配票回収数: 193票、回収数153票、回収率79.2%

(配票内訳) 下関市52/宇部市12/山口市12/萩市23/
岩国市1/長門市60/周防大島町22/田布施町11

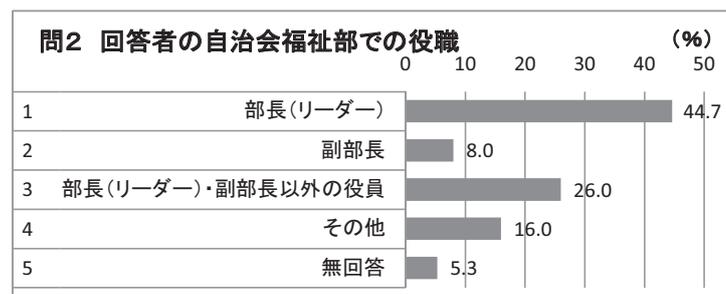
問1 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。

		比率
1	下関市	24.7
2	宇部市	6.7
3	山口市	6.0
4	萩市	14.7
5	岩国市	0.7
6	長門市	33.3
7	周防大島町	12.0
8	田布施町	2.0
	合計	100.0



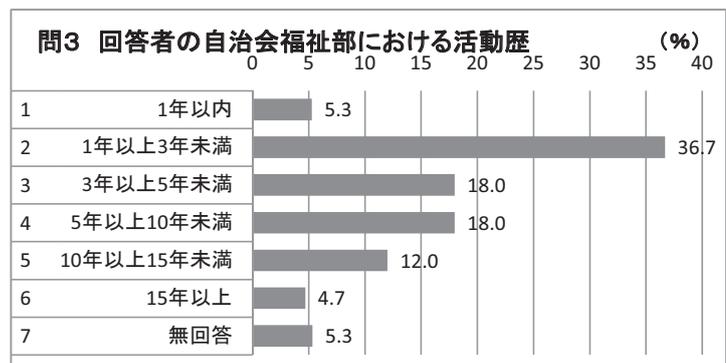
問2 あなたは自治会福祉部でどのような役職を担っておられますか。

		比率
1	部長(リーダー)	44.7
2	副部長	8.0
3	部長(リーダー)・副部長以外の役員	26.0
4	その他	16.0
5	無回答	5.3
	合計	100.0



問3 あなたの自治会福祉部における活動歴はどのくらいですか。

		比率
1	1年以内	5.3
2	1年以上3年未満	36.7
3	3年以上5年未満	18.0
4	5年以上10年未満	18.0
5	10年以上15年未満	12.0
6	15年以上	4.7
7	無回答	5.3
	合計	100.0



平均 5.0年

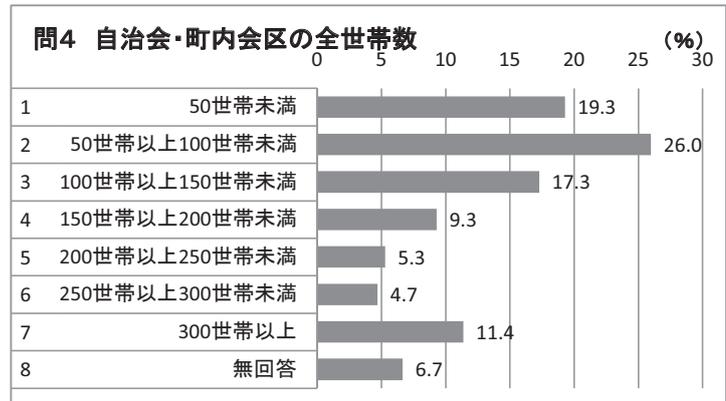
「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

【あなたがお住まいになっておられる自治会・町内会についてお尋ねします】

問4 自治会・町内会区の全世帯数はどのぐらいですか。

		比率
1	50世帯未満	19.3
2	50世帯以上100世帯未満	26.0
3	100世帯以上150世帯未満	17.3
4	150世帯以上200世帯未満	9.3
5	200世帯以上250世帯未満	5.3
6	250世帯以上300世帯未満	4.7
7	300世帯以上	11.4
8	無回答	6.7
	合計	100.0

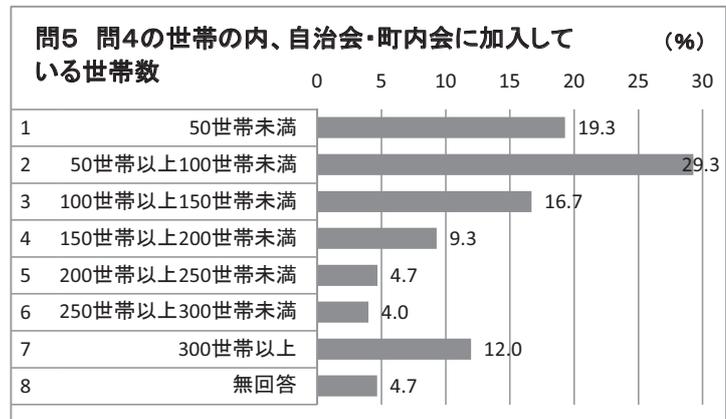
平均 148.3世帯



問5 問4でお答えいただいた世帯の内、自治会・町内会に加入している世帯はどのぐらいですか。

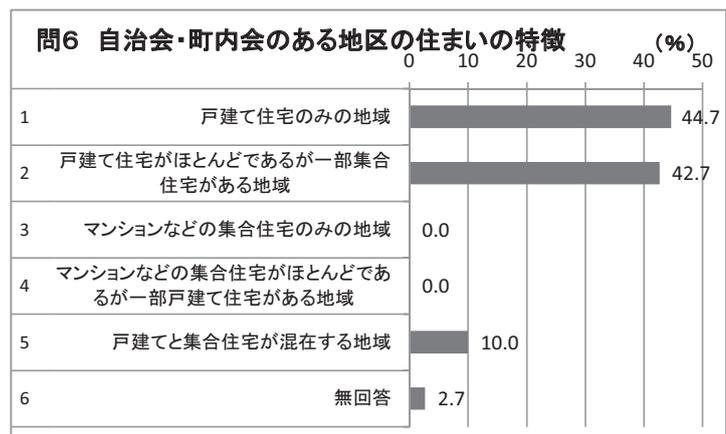
		比率
1	50世帯未満	19.3
2	50世帯以上100世帯未満	29.3
3	100世帯以上150世帯未満	16.7
4	150世帯以上200世帯未満	9.3
5	200世帯以上250世帯未満	4.7
6	250世帯以上300世帯未満	4.0
7	300世帯以上	12.0
8	無回答	4.7
	合計	100.0

平均 142.3世帯



問6 自治会・町内会のある地区の住まいの特徴はどれにあたりますか。

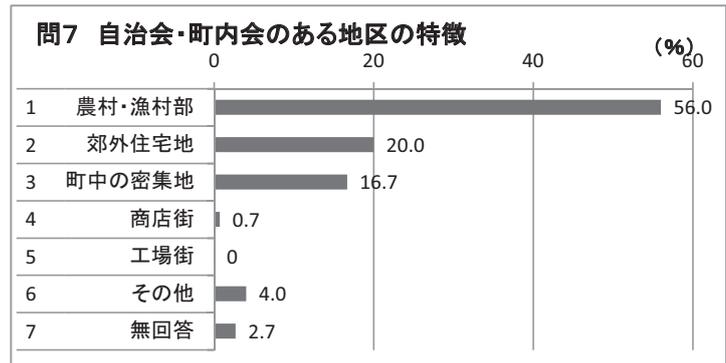
		比率
1	戸建て住宅のみの地域	44.7
2	戸建て住宅がほとんどであるが一部集合住宅がある地域	42.7
3	マンションなどの集合住宅のみの地域	0.0
4	マンションなどの集合住宅がほとんどであるが一部戸建て住宅がある地域	0.0
5	戸建てと集合住宅が混在する地域	10.0
6	無回答	2.7
	合計	100.0



「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

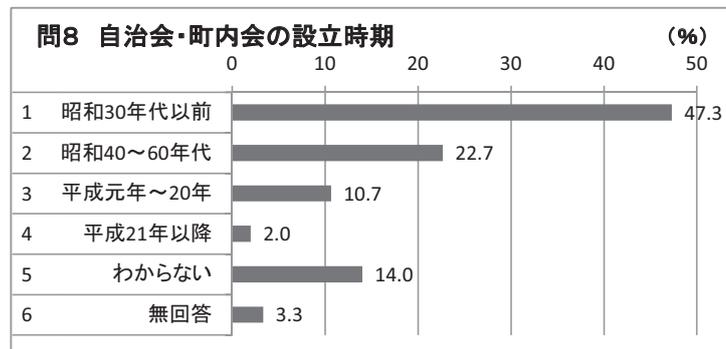
問7 自治会・町内会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。

		比率
1	農村・漁村部	56.0
2	郊外住宅地	20.0
3	町中の密集地	16.7
4	商店街	0.7
5	工場街	0
6	その他	4.0
7	無回答	2.7
	合計	100.0



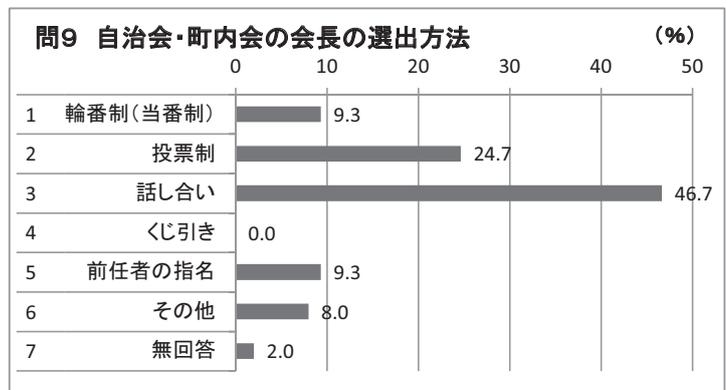
問8 自治会・町内会の設立時期はいつごろですか。

		比率
1	昭和30年代以前	47.3
2	昭和40～60年代	22.7
3	平成元年～20年	10.7
4	平成21年以降	2.0
5	わからない	14.0
6	無回答	3.3
	合計	100.0



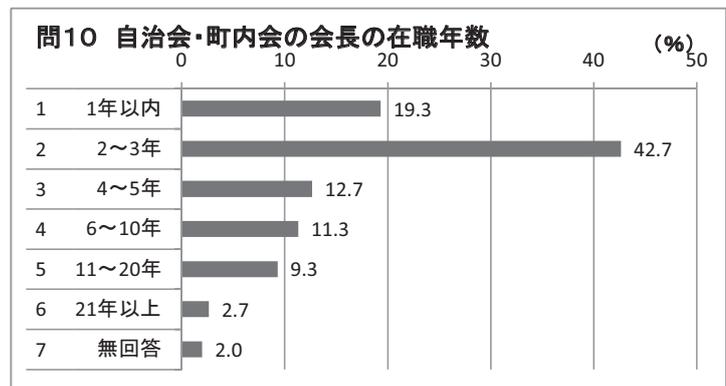
問9 現在の自治会・町内会の会長の選出方法はどれにあてはまりますか。

		比率
1	輪番制（当番制）	9.3
2	投票制	24.7
3	話し合い	46.7
4	くじ引き	0.0
5	前任者の指名	9.3
6	その他	8.0
7	無回答	2.0
	合計	100.0



問10 現在の自治会・町内会の会長の在職年数は何年ぐらいですか。

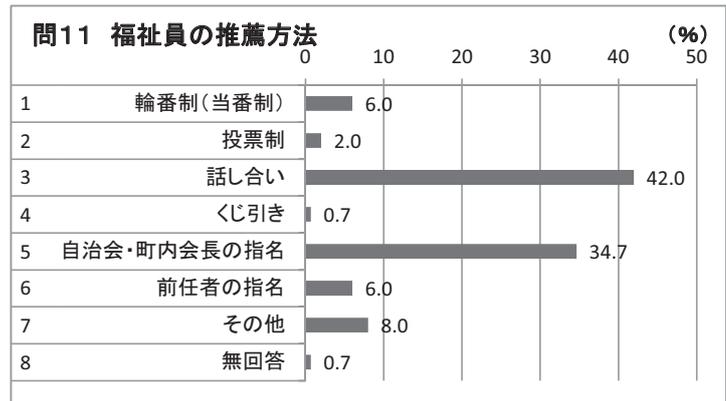
		比率
1	1年以内	19.3
2	2～3年	42.7
3	4～5年	12.7
4	6～10年	11.3
5	11～20年	9.3
6	21年以上	2.7
7	無回答	2.0
	合計	100.0



「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

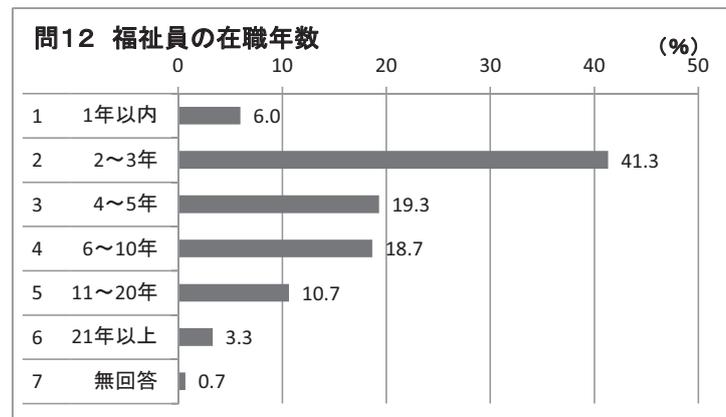
問11 福祉員の推薦方法はどれにあてはまりますか。

		比率
1	輪番制（当番制）	6.0
2	投票制	2.0
3	話し合い	42.0
4	くじ引き	0.7
5	自治会・町内会長の指名	34.7
6	前任者の指名	6.0
7	その他	8.0
8	無回答	0.7
	合計	100.0



問12 福祉員の在職年数は何年ぐらいですか。

		比率
1	1年以内	6.0
2	2～3年	41.3
3	4～5年	19.3
4	6～10年	18.7
5	11～20年	10.7
6	21年以上	3.3
7	無回答	0.7
	合計	100.0



「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問13 自治会・町内会で実施されている活動はどれですか。

		有効回収数からの比率
1	地域の清掃や美化	94.0
2	ごみ処理・収集	54.4
3	地域トラブルの調整（隣家の騒音など）	29.5
4	祭りの実施	65.8
5	スポーツイベントや文化活動	63.1
6	伝統芸能や文化財の保護	26.8
7	慶弔の世話	60.4
8	防災（自然災害）	66.4
9	消防（予防・消火）	49.0
10	犯罪・非行の防止	34.2
11	交通安全の指導	55.7
12	掲示板の管理	54.4
13	集会所や児童館の管理	65.1
14	生活道路や街灯の管理	80.5
15	上下水道の管理	6.7
16	用水路の管理	34.2
17	墓地や寺社、協会の管理への協力	40.3
18	乳幼児の保育支援	10.7
19	子育ての支援	24.8
20	男女共同参画の支援	10.1
21	高齢者の支援	90.6
22	障害者の支援	27.5
23	児童の遊びや教育の支援	18.1
24	青少年の健全育成の支援	47.7
25	学校教育の協力	53.0
26	公害や騒音防止	14.1
27	リサイクルや省エネルギー	42.3
28	自然保護や環境教育	32.2
29	農林水産業の共同作業	24.2
30	まちづくりやまちおこし	49.7
31	国際交流への協力	4.0
32	選挙での候補者の支持	13.4
33	その他	4.7
	合計	

（有効回収数：149）



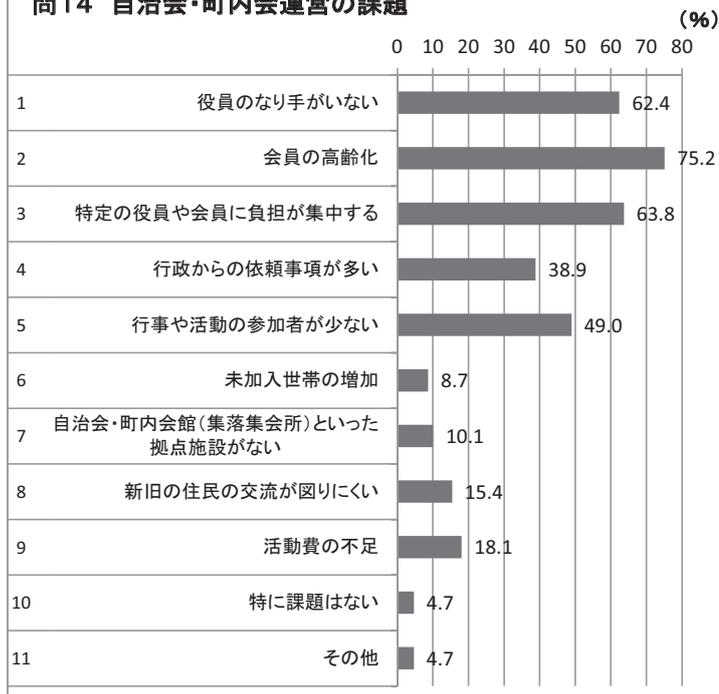
「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問 1 4 自治会・町内会運営の課題として当てはまるものはどれですか。

		有効回収数からの比率
1	役員のなり手がいない	62.4
2	会員の高齢化	75.2
3	特定の役員や会員に負担が集中する	63.8
4	行政からの依頼事項が多い	38.9
5	行事や活動の参加者が少ない	49.0
6	未加入世帯の増加	8.7
7	自治会・町内会館（集落集会所）といった拠点施設がない	10.1
8	新旧の住民の交流が図りにくい	15.4
9	活動費の不足	18.1
10	特に課題はない	4.7
11	その他	4.7
	合計	

(有効回収数:149)

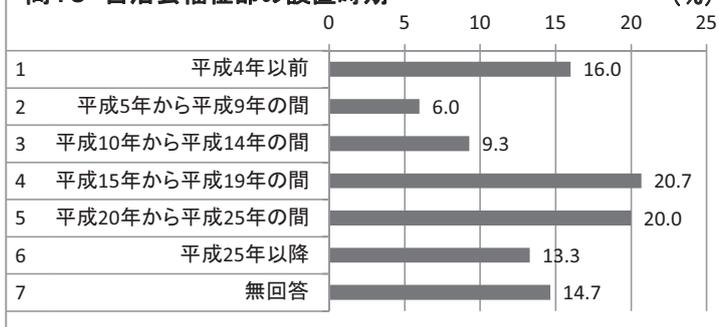
問14 自治会・町内会運営の課題



問 1 5 自治会福祉部の設置時期はいつごろですか。

		比率
1	平成4年以前	16.0
2	平成5年から平成9年の間	6.0
3	平成10年から平成14年の間	9.3
4	平成15年から平成19年の間	20.7
5	平成20年から平成25年の間	20.0
6	平成25年以降	13.3
7	無回答	14.7
	合計	100.0

問15 自治会福祉部の設置時期

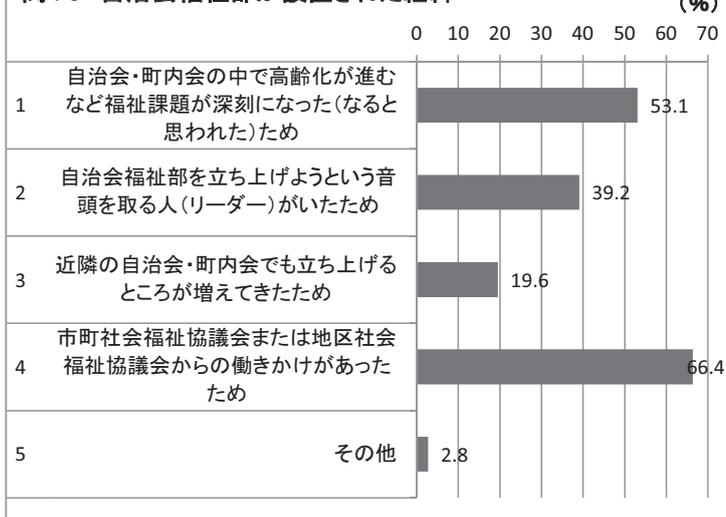


問 1 6 自治会福祉部が設置された経緯はどれですか。

		有効回収数からの比率
1	自治会・町内会の中で高齢化が進むなど福祉課題が深刻になった(なると思われた)ため	53.1
2	自治会福祉部を立ち上げようという音頭を取る人(リーダー)がいたため	39.2
3	近隣の自治会・町内会でも立ち上げるところが増えてきたため	19.6
4	市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会からの働きかけがあったため	66.4
5	その他	2.8
	合計	

(有効回収数:143)

問16 自治会福祉部が設置された経緯



「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

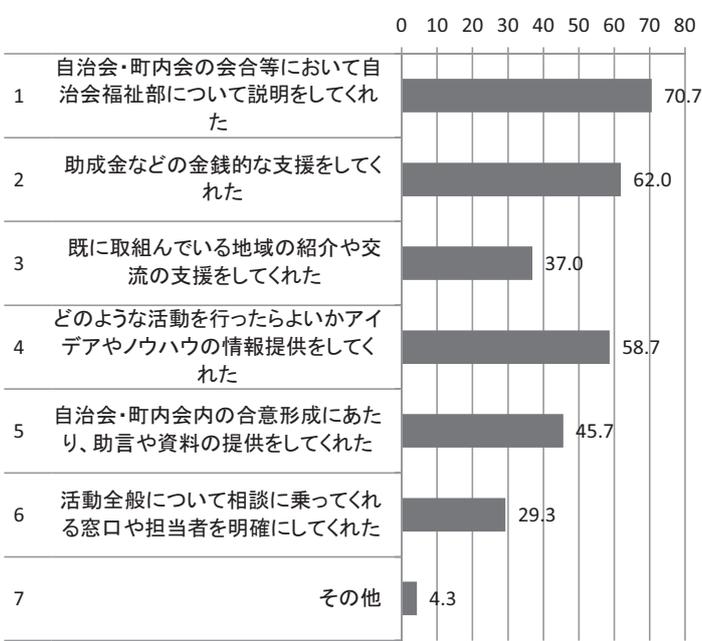
問16で「4 市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会からの働きかけがあったため」と回答された方にお尋ねします。

付問16-1 働きかけの内容はどのような内容でしたか。

		有効回収数からの比率
1	自治会・町内会の会合等において自治会福祉部について説明をしてくれた	70.7
2	助成金などの金銭的な支援をしてくれた	62.0
3	既に取組んでいる地域の紹介や交流の支援をしてくれた	37.0
4	どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供をしてくれた	58.7
5	自治会・町内会内の合意形成にあたり、助言や資料の提供をしてくれた	45.7
6	活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者を明確にしてくれた	29.3
7	その他	4.3
	合計	

(有効回収数:92)

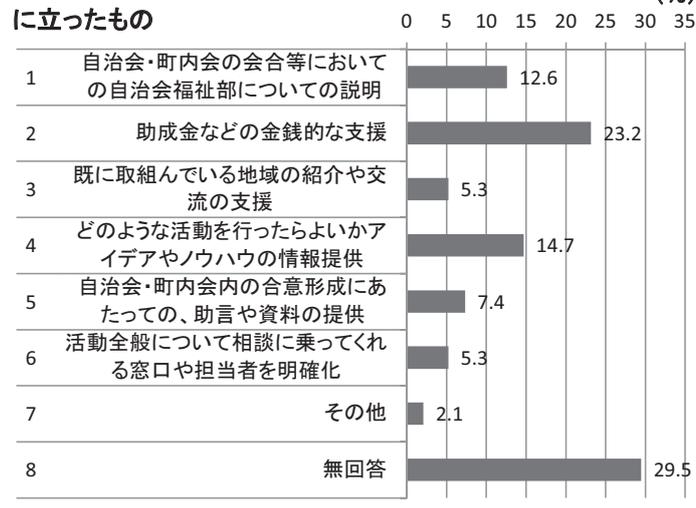
問16-1 問4の市町・地区社会福祉協議会からの働きかけの内容 (%)



付問16-2 付問16-1の働きかけの内容で、最も役に立ったものはどれですか。

		比率
1	自治会・町内会の会合等においての自治会福祉部についての説明	12.6
2	助成金などの金銭的な支援	23.2
3	既に取組んでいる地域の紹介や交流の支援	5.3
4	どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供	14.7
5	自治会・町内会内の合意形成にあたっての、助言や資料の提供	7.4
6	活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者を明確化	5.3
7	その他	2.1
8	無回答	29.5
	合計	100.0

問16-2 問16-1の働きかけの内容で最も役に立ったもの (%)

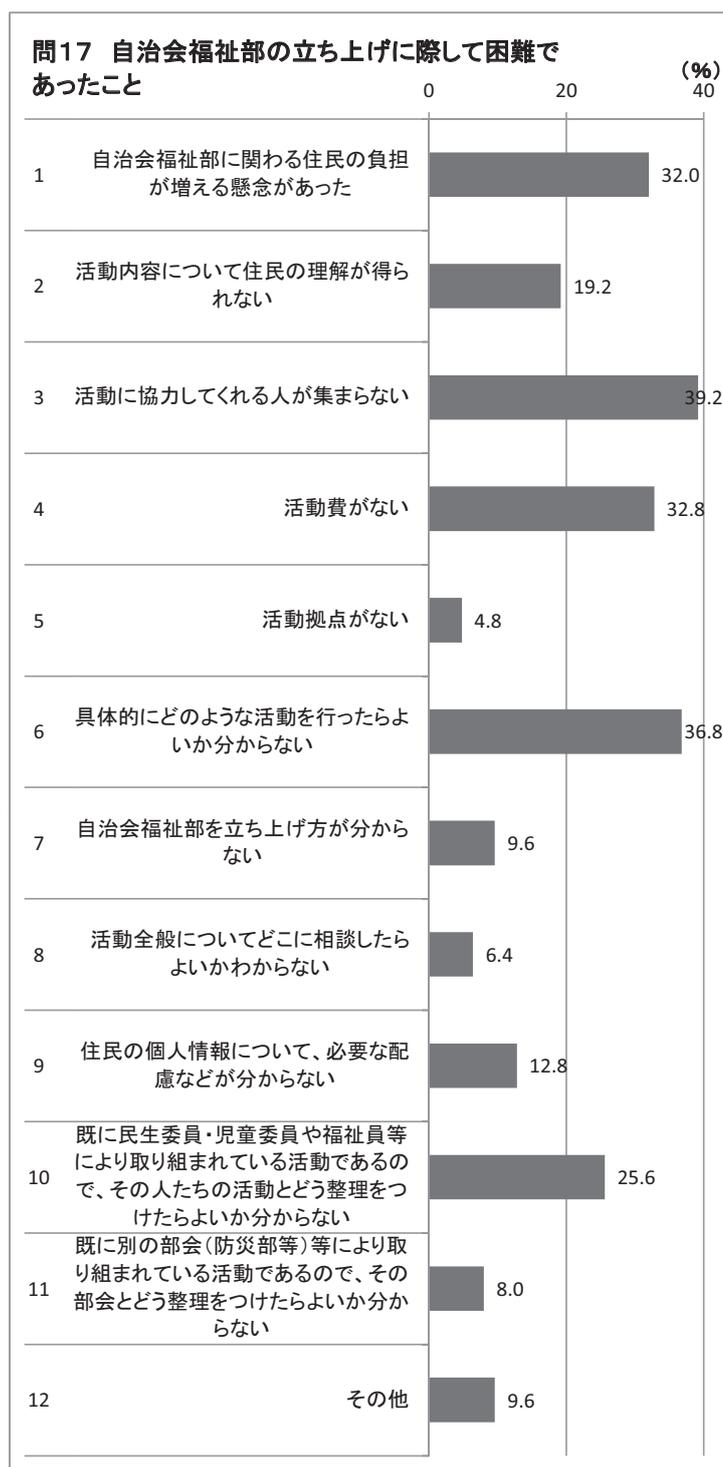


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問17 自治会福祉部の立ち上げに際して困難であったことはどれですか。

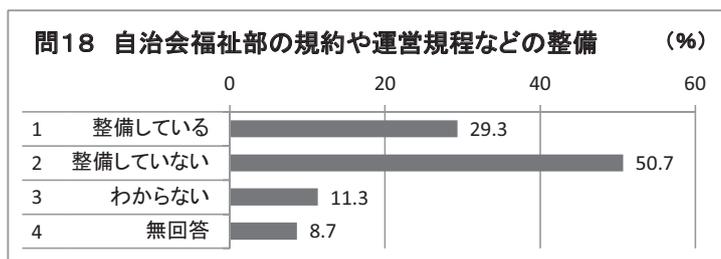
		有効回収数からの比率
1	自治会福祉部に関わる住民の負担が増える懸念があった	32.0
2	活動内容について住民の理解が得られない	19.2
3	活動に協力してくれる人が集まらない	39.2
4	活動費がない	32.8
5	活動拠点がない	4.8
6	具体的にどのような活動を行ったらよいか分からない	36.8
7	自治会福祉部を立ち上げ方が分からない	9.6
8	活動全般についてどこに相談したらよいか分からない	6.4
9	住民の個人情報について、必要な配慮などが分からない	12.8
10	既に民生委員・児童委員や福祉員等により取り組まれている活動であるので、その人たちの活動とどう整理をつけたらよいか分からない	25.6
11	既に別の部会（防災部等）等により取り組まれている活動であるので、その部会とどう整理をつけたらよいか分からない	8.0
12	その他	9.6
	合計	

(有効回収数:125)



問18 自治会福祉部の規約や運営規程など整備されていますか。

		比率
1	整備している	29.3
2	整備していない	50.7
3	わからない	11.3
4	無回答	8.7
	合計	100.0



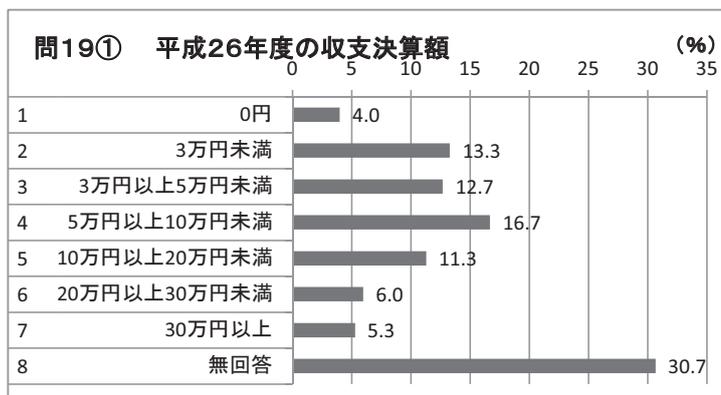
「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

自治会福祉部の活動資金等についてお答えください。

問19① 平成26年度の収支決算額をお答えください。

		比率
1	0円	4.0
2	3万円未満	13.3
3	3万円以上5万円未満	12.7
4	5万円以上10万円未満	16.7
5	10万円以上20万円未満	11.3
6	20万円以上30万円未満	6.0
7	30万円以上	5.3
8	無回答	30.7
	合計	100.0

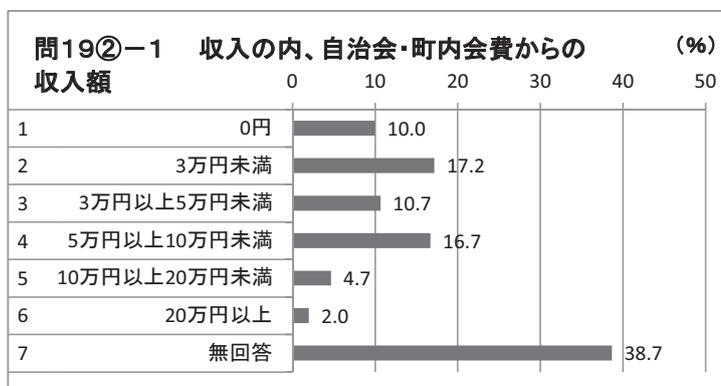
平均 102,679円



問19②-1 収入の内、自治会・町内会費からの収入額をお答えください。

		比率
1	0円	10.0
2	3万円未満	17.2
3	3万円以上5万円未満	10.7
4	5万円以上10万円未満	16.7
5	10万円以上20万円未満	4.7
6	20万円以上	2.0
7	無回答	38.7
	合計	100.0

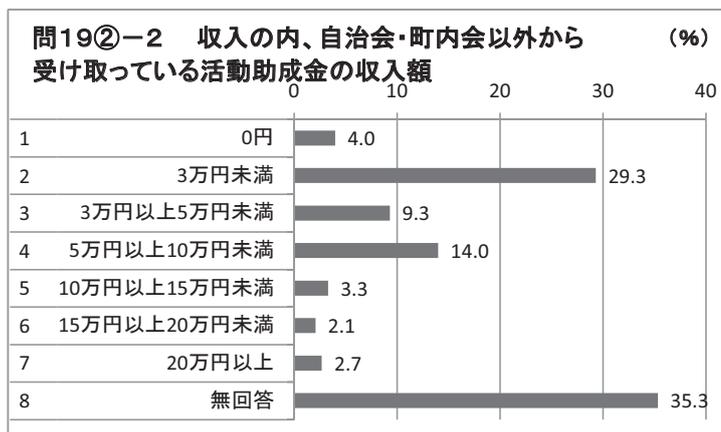
平均 49,675円



問19②-2 収入の内、自治会・町内会以外から活動助成金を受けとっている収入額をお答えください。

		比率
1	0円	4.0
2	3万円未満	29.3
3	3万円以上5万円未満	9.3
4	5万円以上10万円未満	14.0
5	10万円以上15万円未満	3.3
6	15万円以上20万円未満	2.1
7	20万円以上	2.7
8	無回答	35.3
	合計	100.0

平均 48,428円

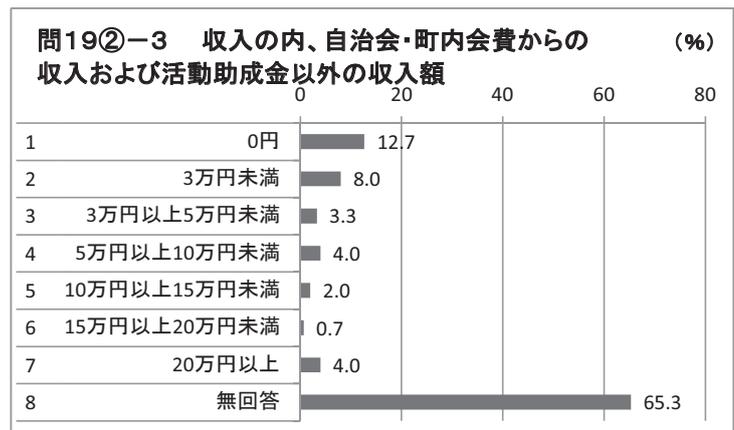


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問19②-3 収入の内、自治会・町内会費からの収入及び活動助成金以外で収入があれば収入額をお答えください。

		比率
1	0円	12.7
2	3万円未満	8.0
3	3万円以上5万円未満	3.3
4	5万円以上10万円未満	4.0
5	10万円以上15万円未満	2.0
6	15万円以上20万円未満	0.7
7	20万円以上	4.0
8	無回答	65.3
	合計	100.0

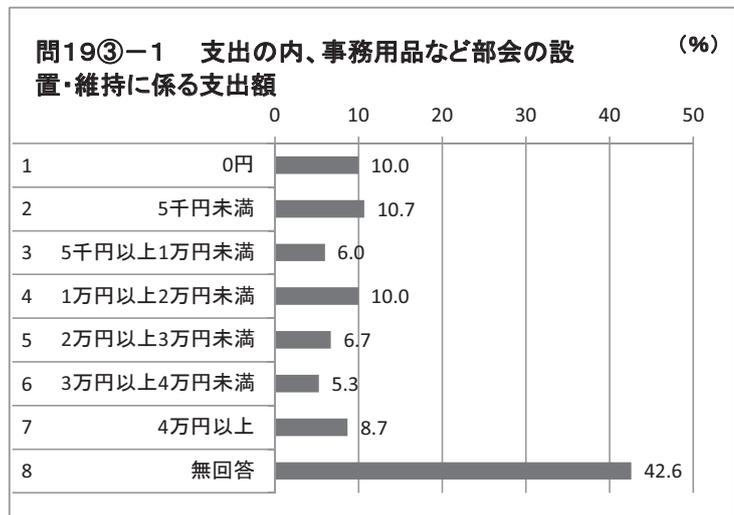
平均 55,930円



問19③-1 支出の内、事務用品など部会の設置・維持に係る支出額をお答えください。

		比率
1	0円	10.0
2	5千円未満	10.7
3	5千円以上1万円未満	6.0
4	1万円以上2万円未満	10.0
5	2万円以上3万円未満	6.7
6	3万円以上4万円未満	5.3
7	4万円以上	8.7
8	無回答	42.6
	合計	100.0

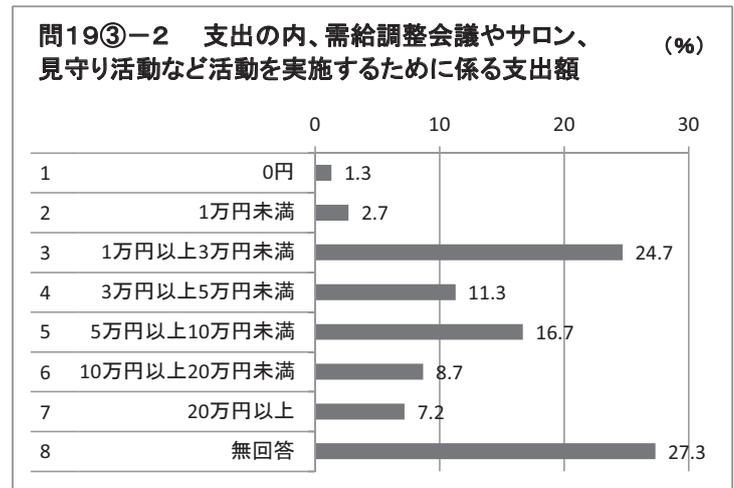
平均 22,363円



問19③-2 支出の内、需給調整会議やサロン、見守り活動など活動を実施するために係る支出額をお答えください。

		比率
1	0円	1.3
2	1万円未満	2.7
3	1万円以上3万円未満	24.7
4	3万円以上5万円未満	11.3
5	5万円以上10万円未満	16.7
6	10万円以上20万円未満	8.7
7	20万円以上	7.2
8	無回答	27.3
	合計	100.0

平均 71,819円

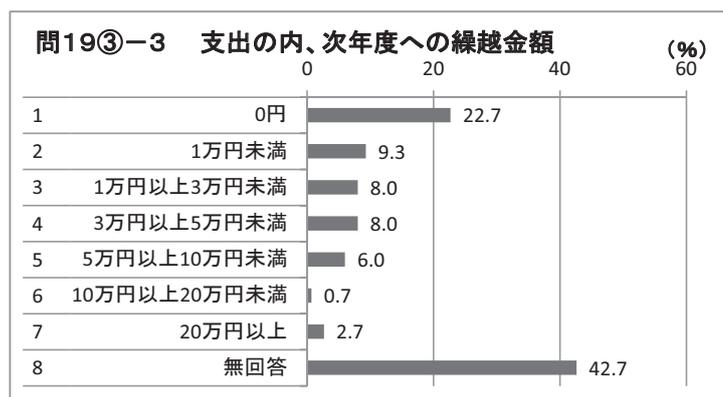


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問19③-3 支出の内、次年度への繰越金額をお答えください。

		比率
1	0円	22.7
2	1万円未満	9.3
3	1万円以上3万円未満	8.0
4	3万円以上5万円未満	8.0
5	5万円以上10万円未満	6.0
6	10万円以上20万円未満	0.7
7	20万円以上	2.7
8	無回答	42.7
	合計	100.0

平均 30,543円

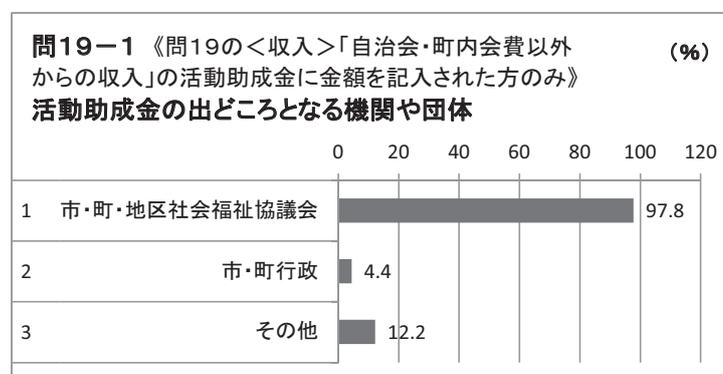


問19で<収入>「自治会・町内会費以外からの収入」で活動助成金の金額を記入された方にお尋ねします。

付問19-1 活動助成金はどの機関や団体から受け取っていますか。

		有効回収数からの比率
1	市・町・地区社会福祉協議会	97.8
2	市・町行政	4.4
3	その他	12.2
	合計	

(有効回収数:90)

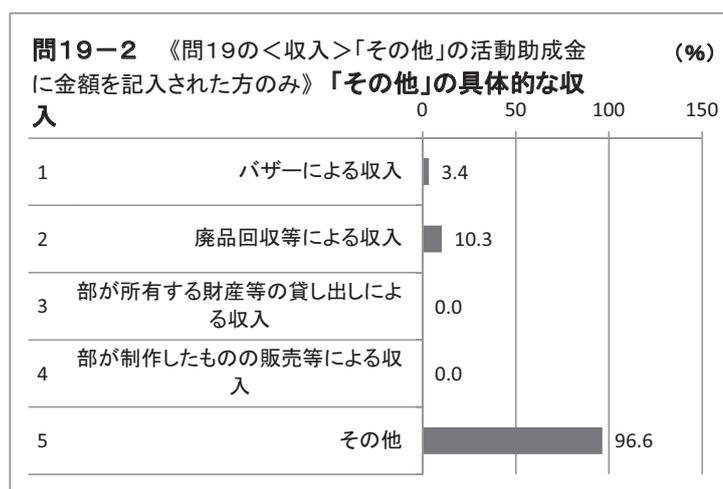


問19で<収入>「その他」で活動助成金の金額を記入された方にお尋ねします。

付問19-2 具体的にどのような収入がありましたか。

		有効回収数からの比率
1	バザーによる収入	3.4
2	廃品回収等による収入	10.3
3	部が所有する財産等の貸し出しによる収入	0.0
4	部が制作したものの販売等による収入	0.0
5	その他	96.6
	合計	

(有効回収数:29)

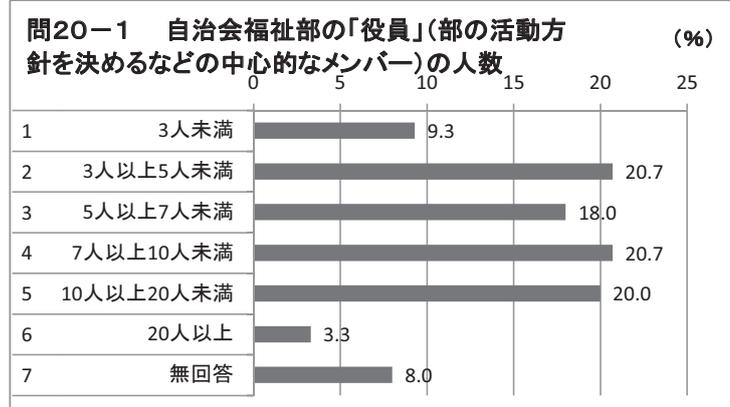


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問20-1 自治会福祉部の「役員」（部の活動方針を決めるなどの中心的なメンバー）の人数をお答えください。

		比率
1	3人未満	9.3
2	3人以上5人未満	20.7
3	5人以上7人未満	18.0
4	7人以上10人未満	20.7
5	10人以上20人未満	20.0
6	20人以上	3.3
7	無回答	8.0
	合計	100.0

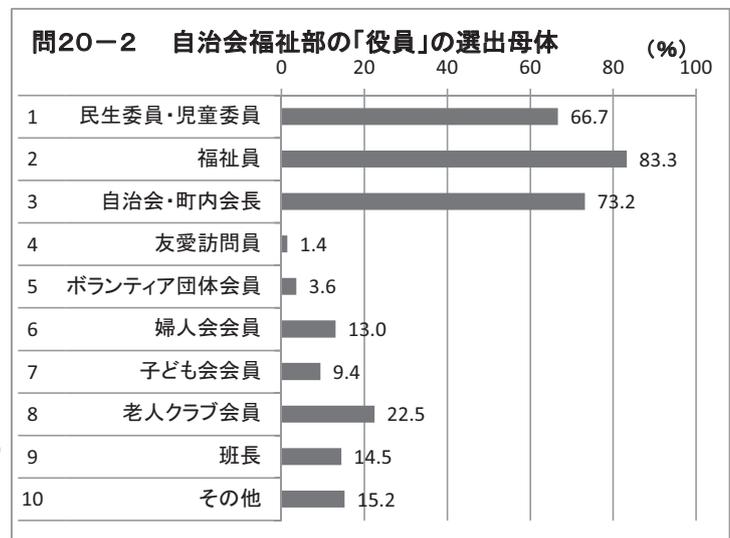
平均 7.2人



問20-2 自治会福祉部の「役員」の選出母体についてお答えください。

		有効回収数からの比率
1	民生委員・児童委員	66.7
2	福祉員	83.3
3	自治会・町内会長	73.2
4	友愛訪問員	1.4
5	ボランティア団体会員	3.6
6	婦人会会員	13.0
7	子ども会会員	9.4
8	老人クラブ会員	22.5
9	班長	14.5
10	その他	15.2
	合計	

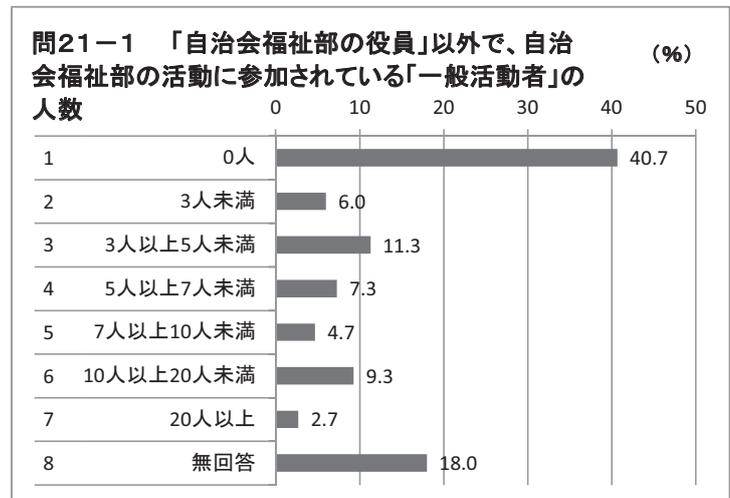
(有効回収数:138)



問21-1 「自治会福祉部の役員」以外の方で、自治会福祉部の活動に参加されている方（「一般活動者」）がおられましたら、その人数をお答えください。

		比率
1	0人	40.7
2	3人未満	6.0
3	3人以上5人未満	11.3
4	5人以上7人未満	7.3
5	7人以上10人未満	4.7
6	10人以上20人未満	9.3
7	20人以上	2.7
8	無回答	18.0
	合計	100.0

平均 5.3人



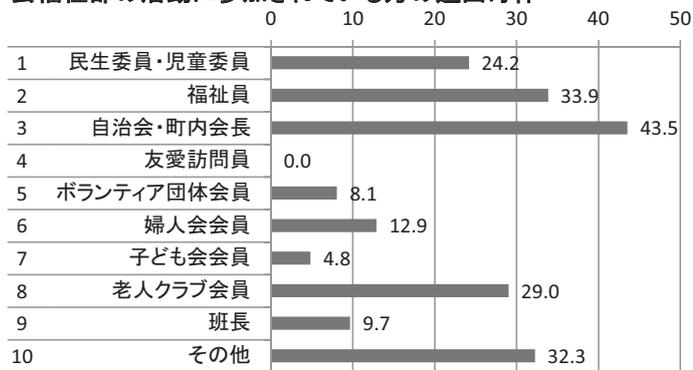
「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問21-2 「自治会福祉部の役員」以外の方で、自治会福祉部の活動に参加されている方の選出母体についてお答えください。

		有効回収数からの比率
1	民生委員・児童委員	24.2
2	福祉員	33.9
3	自治会・町内会長	43.5
4	友愛訪問員	0.0
5	ボランティア団体会員	8.1
6	婦人会会員	12.9
7	子ども会会員	4.8
8	老人クラブ会員	29.0
9	班長	9.7
10	その他	32.3
	合計	

(有効回収数:62)

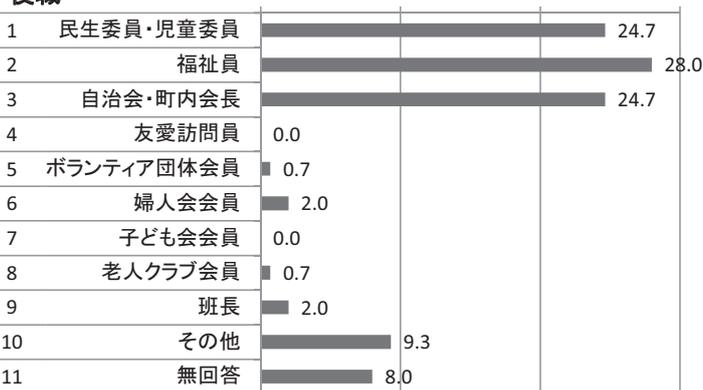
問21-2 「自治会福祉部の役員」以外で、自治会福祉部の活動に参加されている方の選出母体



問22 現在の自治会福祉部の部長（リーダー）の役職はどなたですか。

		比率
1	民生委員・児童委員	24.7
2	福祉員	28.0
3	自治会・町内会長	24.7
4	友愛訪問員	0.0
5	ボランティア団体会員	0.7
6	婦人会会員	2.0
7	子ども会会員	0.0
8	老人クラブ会員	0.7
9	班長	2.0
10	その他	9.3
11	無回答	8.0
	合計	100.0

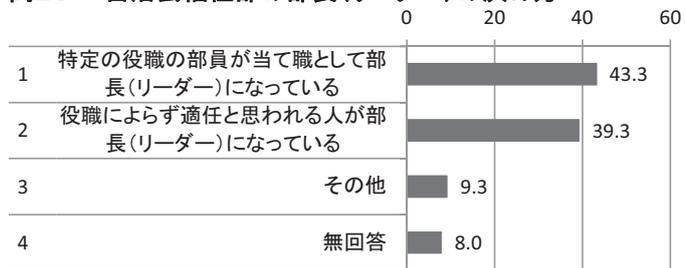
問22 現在の自治会福祉部の部長（リーダー）の役職



問23 自治会福祉部の部長（リーダー）はどのように決めておられますか。

		比率
1	特定の役職の部員が当て職として部長（リーダー）になっている	43.3
2	役職によらず適任と思われる人が部長（リーダー）になっている	39.3
3	その他	9.3
4	無回答	8.0
	合計	100.0

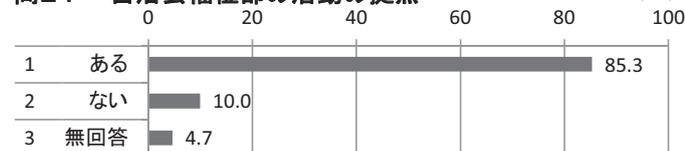
問23 自治会福祉部の部長（リーダー）の決め方



問24 自治会福祉部が活動を実施するための活動の拠点はありますか。

		比率
1	ある	85.3
2	ない	10.0
3	無回答	4.7
	合計	100.0

問24 自治会福祉部の活動の拠点

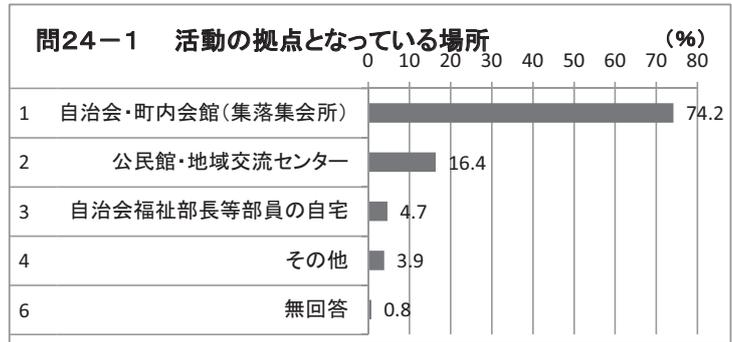


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問24で「1 ある」と回答された方にお尋ねします。

付問24-1 活動の拠点となっている場所はどちらですか。

		比率
1	自治会・町内会館（集落集会所）	74.2
2	公民館・地域交流センター	16.4
3	自治会福祉部長等部員の自宅	4.7
4	その他	3.9
6	無回答	0.8
	合計	100.0

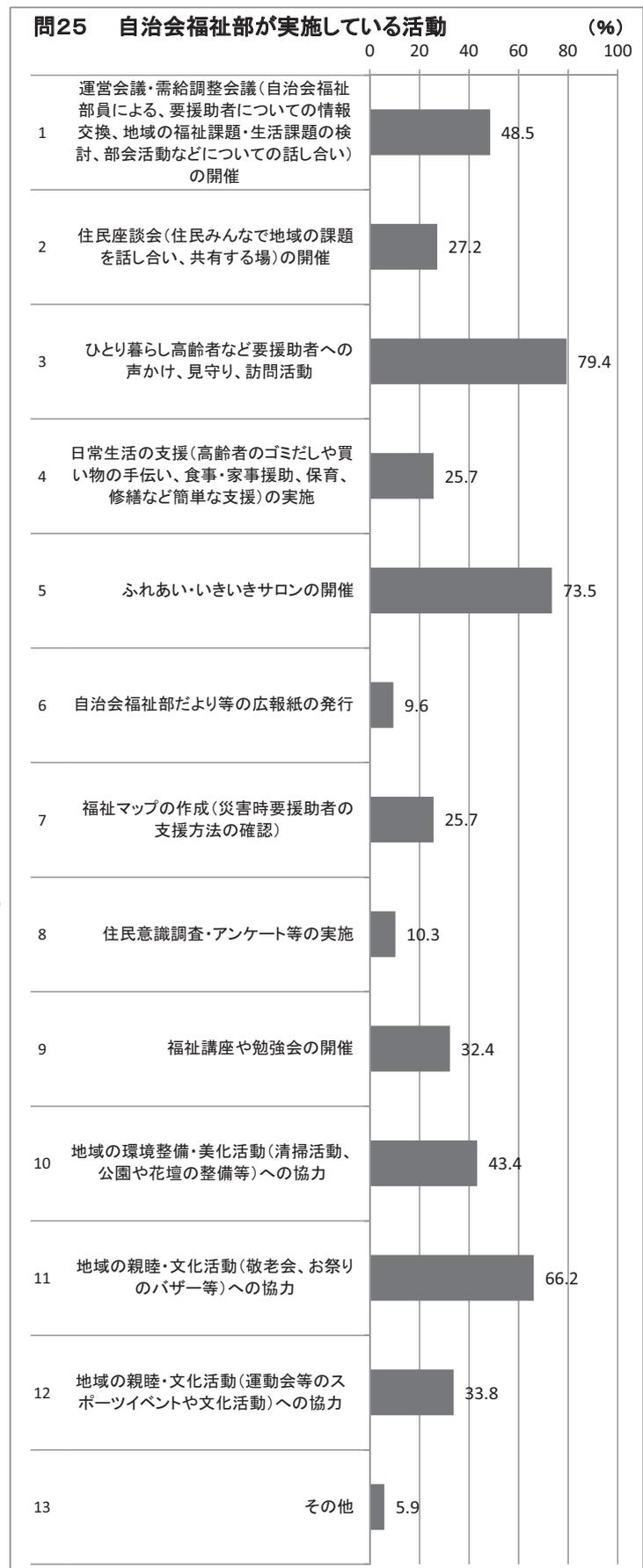


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問25 自治会福祉部が実施している活動をお答えください。

		有効回収数からの比率
1	運営会議・需給調整会議（自治会福祉部員による、要援助者についての情報交換、地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動などについての話し合い）の開催	48.5
2	住民座談会（住民みんなで地域の課題を話し合い、共有する場）の開催	27.2
3	ひとり暮らし高齢者など要援助者への声かけ、見守り、訪問活動	79.4
4	日常生活の支援（高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援）の実施	25.7
5	ふれあい・いきいきサロンの開催	73.5
6	自治会福祉部だより等の広報紙の発行	9.6
7	福祉マップの作成（災害時要援助者の支援方法の確認）	25.7
8	住民意識調査・アンケート等の実施	10.3
9	福祉講座や勉強会の開催	32.4
10	地域の環境整備・美化活動（清掃活動、公園や花壇の整備等）への協力	43.4
11	地域の親睦・文化活動（敬老会、お祭りのバザー等）への協力	66.2
12	地域の親睦・文化活動（運動会等のスポーツイベントや文化活動）への協力	33.8
13	その他	5.9
	合計	

（有効回収数：136）

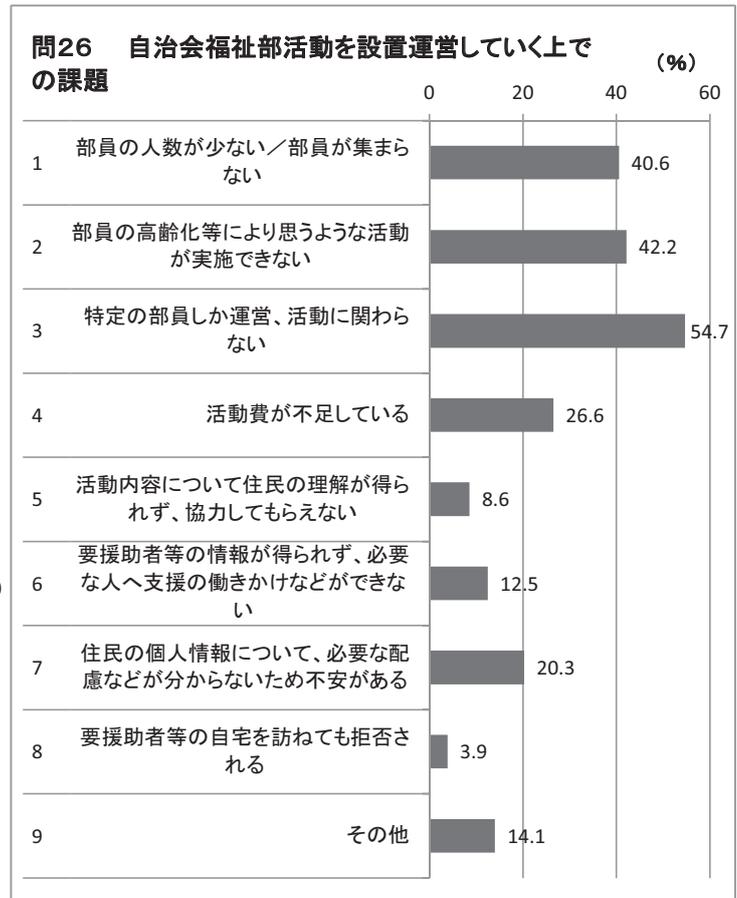


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問26 自治会福祉部活動を設置運営していく上で
課題についてお答えください。

		有効回収数からの比率
1	部員の人数が少ない／部員が集まらない	40.6
2	部員の高齢化等により思うような活動が実施できない	42.2
3	特定の部員しか運営、活動に関わらない	54.7
4	活動費が不足している	26.6
5	活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない	8.6
6	要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどできない	12.5
7	住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある	20.3
8	要援助者等の自宅を訪ねても拒否される	3.9
9	その他	14.1
	合計	

(有効回収数:128)

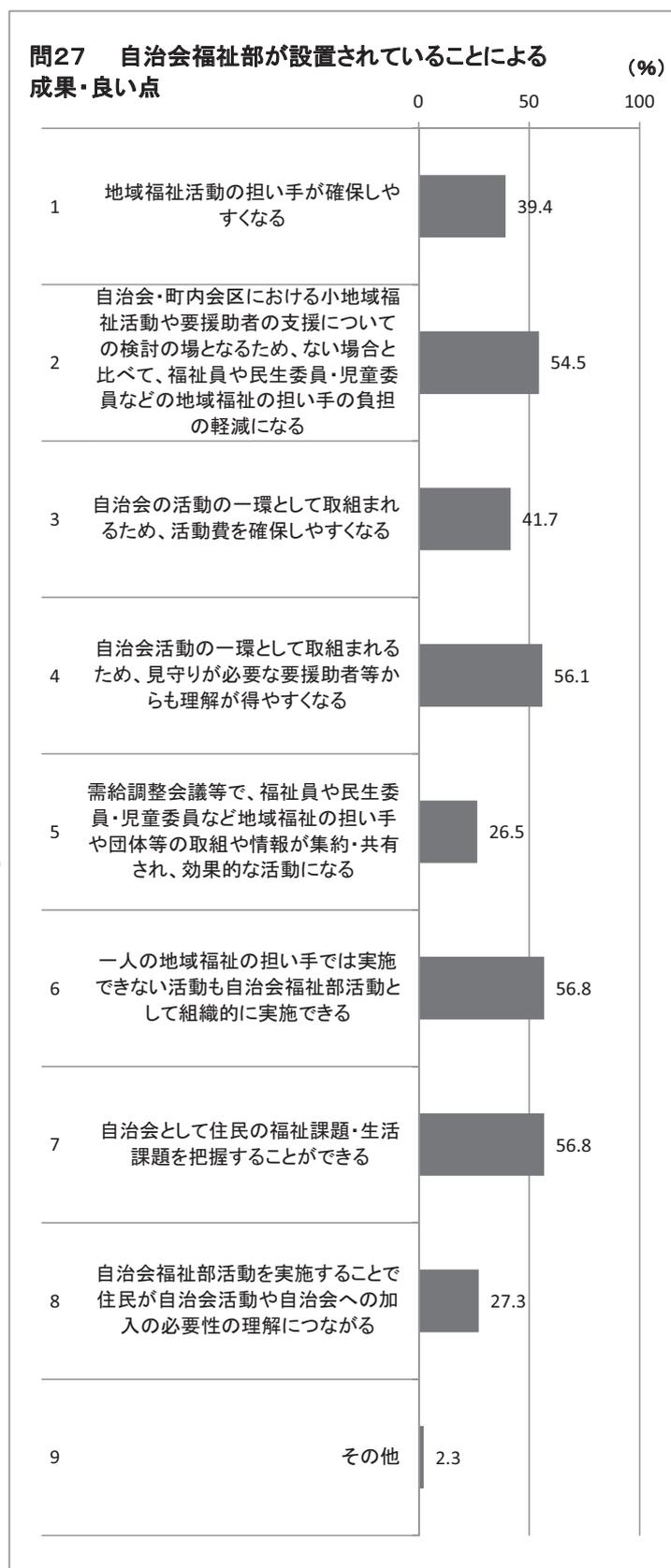


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問27 自治会福祉部が設置されていることによる成果・良い点についてお答えください。

		有効回収数からの比率
1	地域福祉活動の担い手が確保しやすくなる	39.4
2	自治会・町内会区における小地域福祉活動や要援助者の支援についての検討の場となるため、ない場合と比べて、福祉員や民生委員・児童委員などの地域福祉の担い手の負担の軽減になる	54.5
3	自治会の活動の一環として取組まれるため、活動費を確保しやすくなる	41.7
4	自治会活動の一環として取組まれるため、見守りが必要な要援助者等からも理解が得やすくなる	56.1
5	需給調整会議等で、福祉員や民生委員・児童委員など地域福祉の担い手や団体等の取組や情報が集約・共有され、効果的な活動になる	26.5
6	一人の地域福祉の担い手では実施できない活動も自治会福祉部活動として組織的に実施できる	56.8
7	自治会として住民の福祉課題・生活課題を把握することができる	56.8
8	自治会福祉部活動を実施することで住民が自治会活動や自治会への加入の必要性の理解につながる	27.3
9	その他	2.3
	合計	

(有効回収数:132)

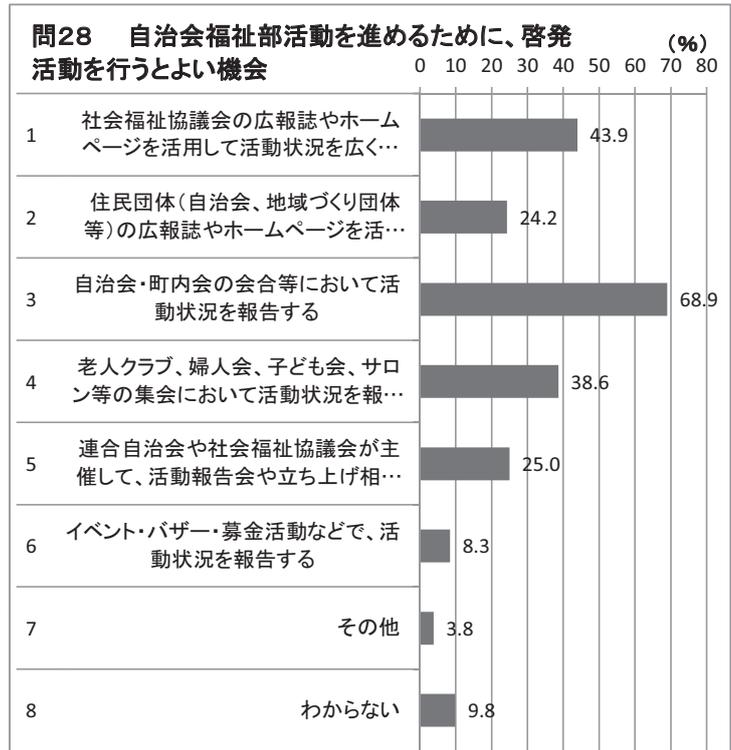


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問28 自治会福祉部活動を進めるために、どのような機会に啓発活動を行うとよいと思いますか。

		有効回収数からの比率
1	社会福祉協議会の広報誌やホームページを活用して活動状況を広く啓発する	43.9
2	住民団体（自治会、地域づくり団体等）の広報誌やホームページを活用して活動状況を広く啓発する	24.2
3	自治会・町内会の会合等において活動状況を報告する	68.9
4	老人クラブ、婦人会、子ども会、サロン等の集会において活動状況を報告する	38.6
5	連合自治会や社会福祉協議会が主催して、活動報告会や立ち上げ相談会を開催する	25.0
6	イベント・バザー・募金活動などで、活動状況を報告する	8.3
7	その他	3.8
8	わからない	9.8
	合計	

(有効回収数:132)

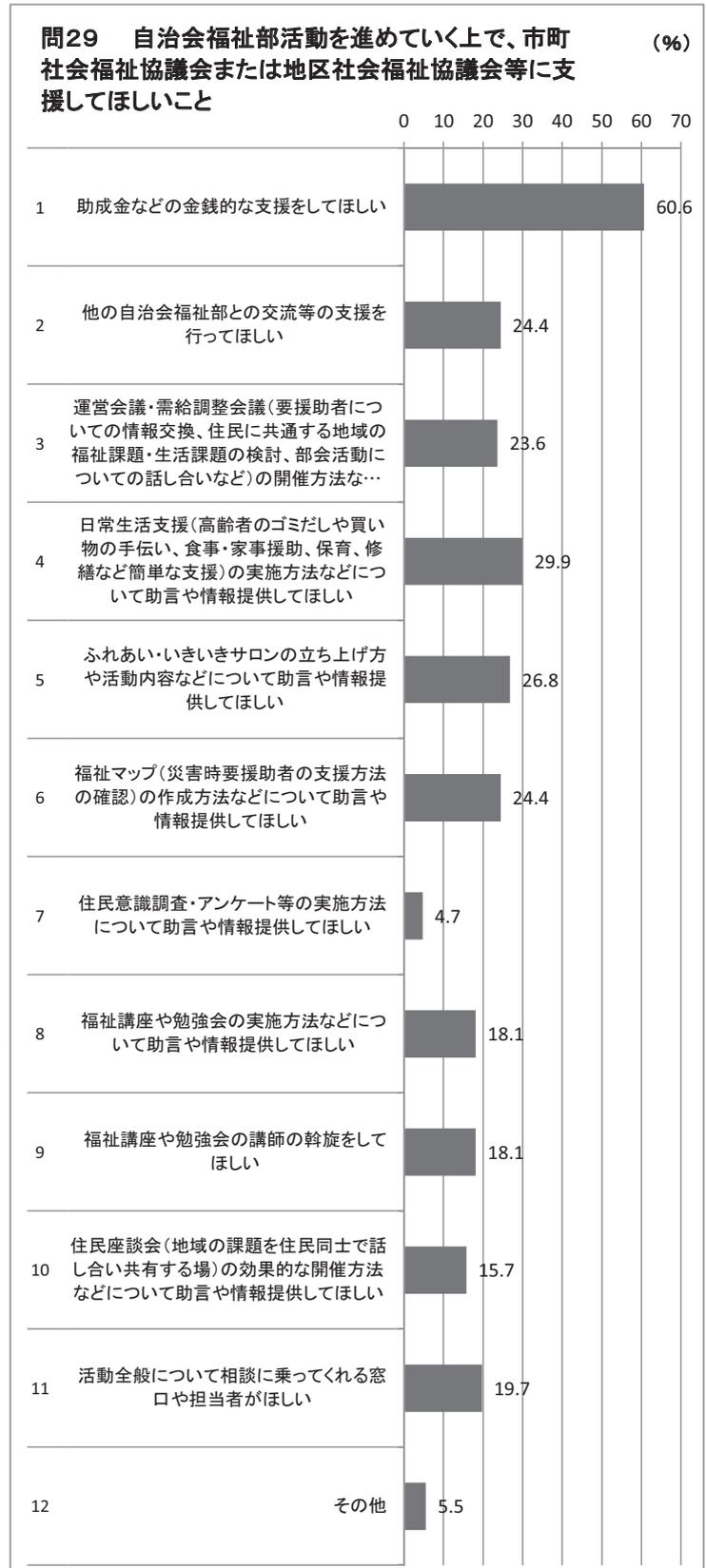


「自治会福祉部活動実態調査」調査結果

問29 自治会福祉部活動を進めていく上で、市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会等に支援してほしいことはどのようなことですか。

		有効回収数からの比率
1	助成金などの金銭的な支援をしてほしい	60.6
2	他の自治会福祉部との交流等の支援を行ってほしい	24.4
3	運営会議・需給調整会議（要援助者についての情報交換、住民に共通する地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動についての話し合いなど）の開催方法などについて助言や情報提供してほしい	23.6
4	日常生活支援（高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援）の実施方法などについて助言や情報提供してほしい	29.9
5	ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ方や活動内容などについて助言や情報提供してほしい	26.8
6	福祉マップ（災害時要援助者の支援方法の確認）の作成方法などについて助言や情報提供してほしい	24.4
7	住民意識調査・アンケート等の実施方法について助言や情報提供してほしい	4.7
8	福祉講座や勉強会の実施方法などについて助言や情報提供してほしい	18.1
9	福祉講座や勉強会の講師の斡旋をしてほしい	18.1
10	住民座談会（地域の課題を住民同士で話し合い共有する場）の効果的な開催方法などについて助言や情報提供してほしい	15.7
11	活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者がほしい	19.7
12	その他	5.5
	合計	

(有効回収数:127)



「自治会福祉部活動実態調査」結果

自由記述回答結果

※個人が特定される可能性のある情報は除かせていただきました。

※またそのために記入されている内容を意味が変わらない程度に一部改編した部分があります。

番号	問2 あなたは自治会福祉部でどのような役職を担っておられますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、複数の役職を務めておられる場合は主な役職を選んでください。(「1・2以外の役員」に記入のあったもの)
1	サロン担い手
2	代表者
3	サロン代表
4	自治会長
5	自治会長
6	自治会長
7	代表
8	自治会長
9	自治会長
10	書記の役割
11	事務局長
12	自治会長
13	自治会長
14	自治会長
15	自治会長として補佐している
16	福祉員
17	自治会長
18	自治会長
19	自治会長
20	民生委員
21	自治会長
22	自治会長
23	自治会福祉員
24	自治会内だけ
25	民生委員
26	自治会長
27	相談役
28	自治会長
29	自治会長
30	福祉会会長
31	相談役
32	自治会長
33	代表
34	民生委員
35	民生委員
36	福祉員
37	福祉員
38	福祉会世話人

「自治会福祉部活動実態調査」結果

番号	問2 あなたは自治会福祉部でどのような役職を担っておられますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、複数の役職を務めておられる場合は主な役職を選んでください。（「その他」に記入のあったもの）
1	自治連合会長
2	8自治福祉部代表
3	自治会長
4	自治会長
5	自治会長
6	地区福祉協議会会長
7	会計
8	地区社会福祉推進委員会会長(7自治会252世帯)
9	自治会長
10	代表者
11	自治会長
12	自治会役員
13	福祉部で主に対応しているので補助程度
14	自治会長
15	代表者
16	会長
17	自治会長
18	福祉会会長

番号	問7 自治会・町内会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。（「その他」に記入のあったもの）
1	限界集落
2	駅前地区
3	住宅地域
4	農村ではあるが、大型スーパーもある
5	旧住宅、新マンション
6	農家も多いが発展中

番号	問9 現在の自治会・町内会の会長の選出方法はどれにあてはまりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。（「その他」に記入のあったもの）
1	役員選考委員会による選出。
2	1及び2の混合。選出地区は輪番、地区内は投票。
3	立候補制
4	1と4の混合
5	自治会総会
6	班毎の輪番制、班内は多くは投票
7	3地域に分かれていてその地域を2年毎の輪番としている。地域内では話し合って選出している。
8	2年毎の班まわり
9	本来くじ、しかし前任者の指名が続いている
10	年齢順に下がる。基本的に男性全員が対象
11	投票制と前者の推薦

「自治会福祉部活動実態調査」結果

12	自治会長
----	------

番号	問11 福祉員は、多くの場合自治会長の推薦をもとに社会福祉協議会会長が委嘱しますが、推薦する人を決める方法はどれにあてはまりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、自治会・町内会に福祉員が複数いらっしゃる場合、最も近い時期に福祉員を委嘱された人の場合を選んでください。（「その他」に記入のあったもの）
1	1と2の混合
2	1と4の混合
3	自治会福祉部員が兼任
4	高齢者が多く、孤独死が毎年、福祉について活動が必要と感じ担当に着いた。
5	自治会婦人部の役員
6	民生委員と相談
7	民生委員の指名
8	民生委員と話し合いで決める
9	福祉部長が、公民館運営委員(4名)の内2名を推薦し、自治会役員会で承認する。
10	福祉員の方たちより依頼
11	自治会長の推薦

番号	問13 自治会・町内会で実施されている活動はどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。
1	地域支援課と連携して新条例や新法の啓蒙活動
2	敬老会実施、高齢者等への声かけ
3	「5 ふれいあい・いきいきサロンの開催」について欄外に記載あり→H27年9月から
4	子ども、高齢者見守り
5	夜回り、消費者セミナーの開催
6	町内見守り、会員の学習、見学会コミュニケーション旅行、敬老祝賀会、カラオケ会、年間の活動、イベント多々、行事。
7	地域起こし活動(他地区への)
8	ふれあい給食(年間10回)、福祉員・民生委員等から見守り援助活動を兼ねて給食配布。10 犯罪・非行の防止、21高齢者の支援では、茶粥の会(年1回)の折、福祉員の料理で会食、駐在所警察により犯罪防止の講話、社協との地区懇談会を行い福祉活動について検討・協議している。

番号	問14 自治会・町内会運営の課題として当てはまるものはどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。（「その他」に記入のあったもの）
1	高齢化が進み、日常生活に支障のある人が増えつつある。
2	マンネリ化した行事を実施しているのみ
3	町内の各イベントに男性参加者が思わしくない。①いかに参加させるかに悩まされている。②町民館が狭い又障害者や車いすがやいりやすい建物になっていないため老人が使いづらい(バリアフリー化をすすめたい)
4	福祉委員の任期が短く、身に付いた活動ができない。自分の任期だけ消化すればよい。前向きな発言もほとんどなし。リーダーシップのある福祉委員が就任し、前向きな対応策を協議していかないと効果的な活動は期待できない。
5	市又は校区として統一されていないため、効率が悪い。EX;登下校見守り、見守る人多く出る日は多すぎる。少ない時はゼロ
6	坂道、階段、マンション等多い

「自治会福祉部活動実態調査」結果

7	活動費の不足、自治会費、一世帯300円で出費、多×、外灯120キ電気代、寄付(神社)多、毎月、神社の行事をさせられる。昔からの現代も変わり無く、金銭の事が全てだ。
8	防災意識の低さ

番号	問16 自治会福祉部が設置された経緯はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	○地域化の高齢化、核家族化が進み私が自治会長になって、それが顕著になりつつあることが明確になった。○私が事業を引退して時間ができて町内役員の人達と話し合いを始めてから。
2	昭和50年代に福祉部長、副部長を選任し現在に続いている。福祉部とは自治会全体と考えている。
3	自治会長を務めた23~24年に町内を歩き回って独居老人の多いのにおどろき、何とかせねばと思ったのがきっかけかも。
4	当時役員でないのでわからない
5	近隣の自治会(6区)集まって組織

番号	付問16-1 働きかけの内容はどのような内容でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	介護予防の体操の指導実施
2	当時「福祉の輪づくり」の働きかけがあった。
3	当時のことははっきりわからない。当時の役員で決めているため。
4	わからない

番号	付問16-2 付問16-1の働きかけの内容で、最も役に立ったものはどれですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	旧町時代の社協が熱心にやられたと思う。
2	わからない

番号	問17 自治会福祉部の立ち上げに際して困難であったことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	当時担当していないので不明
2	自治会長のリーダーシップがもっと必要。自治会長の任期も2~3年が多く、活動方針の協議・検討が十分でない。
3	わからない
4	困難はなかった
5	当時立ち上げに関与していないので不明(27年前)
6	民生委員を中心とした自主福祉活動が先行していたため、福祉部の立ち上げに大きな支障はない。
7	活動計画を立てるのに気を使う
8	福祉委員としての地域における活動、内容、範囲、意識付け等
9	特に困難であったことはない。
10	個人情報等制約が多すぎ。民生委員との連絡もむずかしい
11	福祉会会長を固定させるのが良いか？輪番制にするのが良いか意見がいろいろ出て困った。
12	わからない

「自治会福祉部活動実態調査」結果

番号	付問19-1 活動助成金はどの機関や団体から受け取っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	事業所よりの助成金
2	いきいきサロン参加料、寄附
3	一般参加者からの負担金(その行事に参加した者から一部を負担金として徴収している。)
4	地区自治連合会、いきいきサロン参加者負担金
5	自治会住民からの寄付、行事参加費
6	自治会連合会
7	サロン参加費
8	募金活動の手数料
9	寄附金、復伝、利子

番号	付問19-2 具体的にどのような収入がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	サロン参加者からの会費
2	市町地区社会福祉協議会の補助金
3	くりこし
4	前期くりこし金
5	地区まちづくり協議会
6	個人負担金・利子・前年度繰越金
7	行事参加料
8	くりこし金
9	地区自治連合会、いきいきサロン参加者負担金、利息
10	地区社協より助成金
11	参加者負担金
12	サロン等への参加料(茶・菓子代として)
13	町会費と寄付
14	寄付金
15	参加費(敬老会、いきいきサロン等)
16	寄付、利息
17	前年度繰越金
18	前年度繰越金、利息
19	いきいきサロン会長、前年度繰越金
20	参加者の参加費→(1回当約500円)129,000円 前年からの繰越145,000円
21	寄付金
22	地区民協から活動費として
23	民協よりサロン活動資金として
24	地区民協より
25	寄付
26	前年度からの繰越金、手数料、利息
27	繰越金
28	保険料、老人給食の×成、灯油ガソリン、コピー代金

「自治会福祉部活動実態調査」結果

番号	問20 自治会福祉部の「役員」(部の活動方針を決めるなどの中心的なメンバー)の人数をお答えください。またその選出母体について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	その他は自治会の上記以外の役員全員
2	保護司、保健推進委員、クリーンアップ推進委員、福祉事業従事者で当地区に居住する者
3	各班から選出
4	市議会議員
5	自治会員
6	自治会各役員全員
7	健康推進員
8	自治会役員:会計監査、防犯指導員、クリーン推進員、保健推進員、市政連絡員、副会長、総務部長
9	町内会副会長、保健推進員、元民生委員・児童委員
10	サロン
11	自治会・町内会役員
12	福祉会会長
13	町政連絡員
14	自治会副会長
15	全世帯
16	自治会役員(1年選出)
17	自治会副会長、自主防災会長、公民館長、公民館運営委員、老人クラブ会長
18	会長と会計は選挙で選出
19	いきいきサロン世話人、防犯委員、自治会副会長
20	福祉部長

番号	問21 「自治会福祉部の役員」以外の人で、自治会福祉部の活動に参加されている方(「一般活動者」)がおられますか。おられるようでしたら、その人数をお答えください。またその選出母体について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	当地区生まれの定年退職者の集まり
2	担い手
3	消防団員参加
4	自治会一般会員のボランティア
5	自治会会員
6	保健推進員
7	自治会副会長、事務方～事務長、次長
8	元福祉部役員
9	自治会各役員
10	自治会員
11	自治会・町内会の会員有志
12	福祉会長
13	食推委員
14	自治会員及び自治会副会長
15	福祉員のOB

「自治会福祉部活動実態調査」結果

16	自治会々計
17	自治会員有志
18	有志の方(行事の手伝い等)一般活動者数は3~4人
19	各部落班に各1名福祉員(補助員)を設置
20	自治会役員

番号	問22 現在の自治会福祉部の部長(リーダー)の役職はどなたですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	8自治会長推薦
2	前自治会長
3	福祉部長
4	前民生委員・児童委員
5	前民生委員
6	自治会役員
7	福祉部長として単独で自治会で推薦
8	市職員の方
9	町内会副会長
10	福祉部長
11	サロン
12	自治会内公民館長が兼ねる
13	毎年選挙で選出する。自治会長、民生委員、婦人会長以外から選出。
14	上記1~9に属さない人

番号	問23 自治会福祉部の部長(リーダー)はどのように決めておられますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	自治会長
2	福祉員がなる様にルール化されている
3	8自治会長推薦
4	選考委員会で
5	当初は1だったが、引き続きやってもらっている。
6	本来は民生委員か福祉委員の中から適任を選ぶことが望ましい。
7	当番制
8	自治会総会で承認
9	話し合い
10	前任者からの引き継ぎ
11	自治会長が兼任する
12	毎年選挙で選出する。自治会長、民生委員、婦人会長以外から選出。
13	前年の自治会長
14	会長→福祉部長

番号	付問24-1 活動の拠点となっている場所はどちらですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	自治会長宅、サロン
2	寺

「自治会福祉部活動実態調査」結果

3	漁業組合会館
4	漁協センター

番号	問25 自治会福祉部が実施している活動をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	「自治会だより」の発行
2	子供会活動の支援
3	お年寄りの困りごと相談と対応
4	子どもの登下校見守り
5	相談の日を設けて高齢者の悩み、日常必要な手続き、申請等、書類作成他、税金や金銭的な件、等々。
6	ふれあいバス旅行
7	他地区との交流

番号	問26 自治会福祉部活動を設置運営していく上での課題について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	サロン会や老人会に出席されている方は支援をしてもらっているが、出席できない高齢者や自宅で自由が好きな男性の人にも同じように支援したほうが良いと思う。箱ティッシュやゴミ袋の配布しているが、タクシーの半額券や3人乗りタクシーごいっしょ券とか家掃除券、草取り券、ゴミ出し券など敬老の日に出して、自治会ボランティアに運営(自治会福祉員、自治会役員、民生委員)がしたらいいと思います。福祉部助成金をこちらの方にも少しまわしてもらって各自治会で考えたらいいと思います。
2	10年後に活動が定着することを目標に、無理のない様な取り組みをしているので、現時点では特にない。ただ、班によっては福祉員の選出が出来ず、班長が兼務したり不在といったこともあるが、成るようになって思っている。
3	福祉部できて、まだ1年余り福祉員としての意識レベルに各自差がある。
4	今のままで良い
5	活動への参加者の広がりが小さい。
6	山坂多く、地域が問題。バスもないため送迎している。
7	男性の協力が少ない
8	福祉部活動の取り組みの歴史が浅く、役員間の取り組みに対する意識の向上が必要である
9	特にない
10	役員への引取手が少ない
11	福祉部リーダーの過去の経験、多様により450世帯に行き渡る連絡網、四季様々な行事、講座、旅行、親睦、正月遊び、子供会を含め、大イベント毎年大型バス借り、ふれあい。80才以上が200人を超え敬老お祝い高級なお茶等喜ばれる。旧家が多く高齢者は外出するに重い人が多くいろいろ人様とのふれあい、明るい、元気で100才迄をモットーに活動運営ラジオ体操1日に200人～300人参加者で明るい元気な声が早朝、老若男女、子供もと最高なコミュニケーション。26年度は孤独死される方が0人で無い年となり、結果が出始めた。うれしい声を聞く。苦労が多かったが、たゞ社協からの助成金は3年間で、今年27年度は打ち切られ、行事は無し、ラジオ体操終了時、子供達に(他の自治会からの出席者も全員)参加賞をプレゼントしていましたが、今年は、プレゼントはしませんでした。ノート1冊ですが、声が悲しく聞こえます。3年間で「天の岩戸」から顔を出し始めた高齢者、一歩進んだところでしたが残念だ。
12	個人情報保護法により名簿等の入手が困難
13	活動のマンネリ化

「自治会福祉部活動実態調査」結果

14	地域住民の高齢化、人口減により部員が確保できなくなることが予想される。活動も困難になることが予想される。地域そのものの消滅も考えられる。
15	非常にうまく運営されていると思います。福祉員、民生委員、自治会長等皆様の連携が非常にうまくとれています。

番号	問27 自治会福祉部が設置されていることによる成果・良い点について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	高齢者が多い為、いい点なし。
2	わからない
3	現代の時代制だろうか？人の為に担い手になろうと思う人は少ない実際だ。

ケース番号	問28 自治会福祉部活動を進めるために、どのような機会に啓発活動を行うとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	町内清掃日に班長に活動状況を報告する
2	旧町時代より先進的に取組みがされているので現状で十分と考えている。
3	常に聞く言葉「高齢者の方々、ホームページ活用、人口は少ないこと。「日本人なのに、テレビ、お店、いたるところ英語での案内だ」との声、若い方のデスクワークでの分の作成で、高齢者の立場の方に対しての事を忘れない様希望する。
4	あまりやりすぎない方がよい。

番号	問29 自治会福祉部活動を進めていく上で、市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会等に支援してほしいことはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	現状の活動にて満足しています
2	特になし。
3	現在市社会福祉協議会の地域福祉課が十分情報提供と指導をいただいているので助かっています。
4	援助者が中々いない
5	福祉活動を実践してる福祉員の話聞き取り入れる事も前進だ。計画企画されてる人と実践者の温度差が大である。
6	資源ゴミ回収について絶大な支援をいただいている
7	特になし

番号	問30 そのほか、自治会福祉部活動について、ご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。
1	見守り訪問時に留守で連絡取れない時があります。何回も行くが耳が悪く本人は家の中におられてもチャイムの音も聞こえない場合がありこまりました。社協にお願いして訪問メモ紙を用意してほしいと言いました。10月ごろ作るという社協からの返事でした。
2	当自治会では地域ニーズに応じて即行動を起こすというスタンスを以ってこの5年ぐらい活動してまいりました自治連合会長としては大変多忙で福祉活動のみに集中する時間も無く、今は副会長と福祉部長、事務局長に任せて細部は実行しています。よく頑張ってくれていると思います。
3	自治会福祉部の立ち上げに際して、楽にスタートできた。
4	年間の活動計画をたてる。レビューする。(活動内容、予算、担当者も決めておくこと)定期的に推進会議を開くこと。

「自治会福祉部活動実態調査」結果

5	話し合い等で各自治会より福祉員となり、その1年を担当すれば良いとの考え方で、積極的な活動がない。マンネリ化。
6	自治会福祉部だより(広報紙)の発行に際し、特に助成金が欲しい。
7	調査を無意味とまでは言わないけど、何回やっても効果はないでしょう。社協の職員が地域に何回出掛けたか、呼んでもらえたかが大切。そんな社協職員像をどうつくるのか、目指すのかを第一にされたらと思います。
8	少子高齢化社会において、各地域個別活動でなく集団合併地域合同に依る福祉活動を進めるべきである。周辺地域の合併
9	高齢者を高齢者が面倒を見る時になって、いずれ限界となると思う。その時にどうしていくか考える必要がある。
10	1)アンケート調査票のあて先は「各自治会福祉部の長」となっている。当自治会ではこのような役職はおいていない。 2)自治会福祉部活動と社会福祉活動との関係を明確にする必要がある。 3)活動資金は福祉協議会から受け取っており、自治会には納入していない。福祉活動(友愛訪問、ふれあい会食等に一部充当)に使っているのが現状。 4)自治会長・福祉推進委員長との合同会議等は開催されたことがなく、トップの決め方と役割を決めることが必要と思う。お互いに様子を見ているのが状況。
11	会議、調査、定められた行事等は役員の負担が大きく、効果は薄いと思われる。自由に使える予算配布で、好きな時に好きなことができるよう配慮願いたい。予算使途はお茶、お茶菓子(3~5万)程度
12	自治会福祉部の立ち上げに際して、設置時期や当時のことは不明。
13	県外から帰ってきて、年数が浅い為詳しくわかりません。
14	自治会福祉部を立ち上げて2年目となるが、自治会役員会と合同で定例役員会(月1回)を開催している。議案もほとんどの場合福祉に関連しているので、課題も速決し動きが早い。課題もさまざまであるが、安心、安全の地域づくり、健康維持関連を中心にして行事を行っている。
15	自治会活動の中だけでなく福祉委員として校区の活動にも参加している。また、自治会内にある「ご近所福祉事業」活動を行っており、それにもスタッフとして参加している。
16	自治会規約に自治会福祉部設置を規定、その他は校区の規約に準じている。福祉活動は防災にもつながりますので、これからは福祉・防災部とか防災部、防災・福祉部という名の部を付けても良いのではないかと思います。何にしても新し部を設置するには自治会規約等を変えなければならないので、各市町や市町社協が積極的に働きかけていただきたいです。これからの地域における福祉活動は自治会の協力なくしては成り立たないと思います。
17	個人情報保護法がネックとなり、要支援者の状況がつかめない。本当の意味でどこにどんな方が寝ているとか、具体的な情報がない。家すら不明。(言いたがらない)要支援者もプライド、はずかしい等があるのか?
18	自治会福祉部と言う組織はないが自治会長民生委員、福祉員が福祉会活動をしている。
19	福祉マップ(災害時要支援者への支援ならびに日常生活支援も含む)は全自治会員が要支援者を確認するのに有効な方法と考えますが、一方では要支援者の個人情報の公開にもつながりかねない面があります。このあたりを貴協議会ではどのように考えていますか?

「自治会福祉部活動実態調査」結果

20	<p>市や地区として統一的にやるとよい。見守りユニホームバラバラ、自治会単位の活動には金が回ってこない。毎日活動している所には助成がなし。形式的実施している所には金がおろる。⇒ユニホームバラバラ、立合場所の人数バラバラ、もう少し統一的に効率良く実施したらどうか。例: 役員の所に金がある。しかし月に1~2回、新しいユニホーム→2回/月見守、自治会: 金がない、ユニホームがボロボロ、毎日見守 おかしい。</p> <p>①社協は自治会から金を取り、自分の気に入った団体に支給。お金の配り方、正当性は確保されていない。 ②社協と名の付く団体は法人化すべき。金の使い方の正当性が確保されていない。また監査を受けるべき。</p>
21	自治会の世帯数又は人口に対しての助成金/年がいただければ助かります。
22	私達福祉部は、まだまだ発展途上のため、多くの課題があると思うのですが、今はまだまだ外に目は向けず地域においての仲間集め、作りを進めて行くつもりです。
23	私の地区は前より自治会長は福祉についてはあまり関与しません。4つの自治会で福祉推進組織を作りこの組織が活動しています。 社協さんや市福祉課より指導助言をいただいて大変助かっています。福祉組織を作って7年になりますが、順調に推移しています。
24	もっと市社会福祉協議会が地域の情報を把握し、その地域にあった活動を推進してほしい。この地域は、社会福祉協議会の職員は2名であり、活動等の支援はできていない。事務的に処理をするのみと感じています。
25	若き時代に福祉の仕事にかかわって来て、表、裏、体験して学ぶ事、課題も多く有る。協力者の少ない悩みほどの地域も同じだ。時代的に難しい点にはかかわらずの近年故、即結論で地域におなじみになり顔となる事が、推進を可能と近づける、人脈だ、我が自治会、以前は何も行事無し、会費納入のみ、苦情ばかり、だった、リーダーによると考える。自治会、全員が元気になられ、ふれあい会を楽しみにしてる姿と変わった、450世帯毎年80才20~30人になります 日常生活で歩いて行ける範囲に全て各機関がある故、マンション建設も直ちに売れる、ブランド的になってる豊浦小学校 旧家、新しい家々、マンションと自持家90%だ、4年過ぎやっとな軌道にのった地域を心配の風が通過してる 私事ですが、国勢調査員として多忙な折、故、乱筆乱文となり失礼致しました。希望として話し合いが出来れば幸いです。(県、市の社協の係の方との) 推進、合理的、改善すると思う。

「自治会福祉部活動実態調査」結果

26	<p>別紙:1. 自治会福祉活動の現状 平成23年に有志23名で立ち上げた『サポート隊』は、5年目を迎えています。発足当初から、私たち自治会の10年後の年齢構成比が分かっていたので、当面の活動として、高齢者お一人様を対象に、話し相手、電球の交換、水回りの漏水修理、簡易な家具の移動、庭木伐採などの支援からスタートしました。当自治会の環境は、山を造成した宅地であり、道路は急坂・階段ばかりで、足腰の衰えた高齢者、運転免許証の返納者にとっては、日常の足が問題となっています。最近の支援の傾向として、日常生活に直結した「ごみ出し」、「通院・買物」への要望が増えています。現在の支援者は、「ごみ出し」2名、「通院・買物」2名ですが、これから更に増えると予想されます。</p> <p>2. これからの課題 国は、地方創生の時代、介護医療は施設・病院から、在宅介護・訪問看護となり、また下関市では、「まちづくり協議会」と称して、市内を17中学校区に分割し、それぞれのまちの特色を生かした「まちづくり」の構想・企画計画・実行を提唱しています。このように、最近特に財政難・職員の人手不足・施設の不足等を理由に、「自助」「共助」に期待する状況下であり、それに対応できない地域は取り残されそうな雰囲気にあります。一方、「共助」としての担い手は、私たち自治会も発足時から5年経過し、平均年齢は72歳を超えています。若手の加入を呼びかけていますが、定年退職が65歳を超え現役の仕事が続けた人には、やっと自由な時間ができたのでしばらくはゆっくりしたいと、『サポート隊』への加入に消極的です。</p> <p>企業を定年退職した人、また現役の人にも担い手になってもらうには、これまでのような有志によるボランティアや、おもしろい意識・責任感のみでは、福祉活動の継続できないと危惧しています。何らかの新しい仕掛け・仕組みづくりが必要不可欠と思います。今、直ちに解決に結びつける方法はありませんが、これからの検討課題の思い付きのアイデアです・・・</p> <p>◆地域包括支援センターの拡充 ◆介護保険 ヘルパーとの協業 ◆有償ボランティア制度 ◆支援したポイント獲得制度(獲得ポイントが支援を受ける時に使用できる制度)まだまだ？</p>
27	<p>助成金を更に支援していただきたい。活動はすべてボランティアであり、現在は通用するが、世代が変わったら今のようにはいかない。予算処置を講じ制度化すること。</p>
28	<p>自治会活動の参加者も減少し、重複する役職で構成される中で安心・安全なまちづくりを掲げるのは容易ではありません。自治会福祉部の活動と言われる事が大きな負担になります。もっと身近な分かりやすいネーミングで明るくなるような、そして誰でもが参加しやすいネーミングにして欲しいです。福祉部＝暗い感じがします。正直重く感じます。</p>
29	<p>自治会活動の中で実施している(小規模の為)自治会役員は、会長・各区長・婦人部代表・老人クラブ代表・消防団代表等で構成。協力体制は良好です。</p>
30	<p>地域見守り、支え合い、活動実施</p>
31	<p>大変地道な活動ですが、「いきいきサロン」を始めて12年たちます。「継続は力」ですので、やり抜きます。資源ゴミの回収と社協の助成だけでやっています。</p>
32	<p>昨年福祉部を立ち上げ市社会福祉協議会の協力を得、徐々には軌道に乗ってきていると思います。ふれあい旅行、ふれあいサロン、環境美化活動を中心として満足できると自負しています。今後も活動を続ける為には①継続的な活動資金②一般部員の充実が最大の課題と思っています。</p>
33	<p>助け合いの意識が低い地区で、防災に関しても同様。自治会の運営自体がむずかしい時代になっている。社協の職員も少しは防災に興味がある者を職員として欲しい。他人様の様に相談に乗られても、のれんに腕押しである。</p>
34	<p>自治会福祉部の会長が自治会長と兼務している。又、任期が1年交替である為、活動の推進が進まなく、サブリーダーがやはり主力リーダーとしてやらねばならない。</p>
35	<p>自治会員全体が高齢化しており、福祉員もあわせて高齢化している。老老介護となっており、これからの活動がむつかしくなることが予想される。また、地域の人口減少が激しく、人員の確保もむつかしくなることが予想される。現在地域活性化(人口増)をめざして活動を継続しているところである。</p>

「自治会福祉部活動実態調査」結果

36	自治会と社協の応援で成り立っているが、福祉員の方々が材料等も持ち込みで頑張ってくれている。ふれあい給食の配布が主な活動だが、協力員の方に配布にご尽力頂いている。
37	民生委員・児童委員、福祉員、自治会長とも非常に連携がとれていて自治会福祉部活動がうまくいっています。
38	自治会福祉部は設置されていません。

自治会福祉部活動実態調査について

調査票の御記入にあたってのお願い

山口県社会福祉協議会では、「住み慣れた地域で 誰もが 安心して 心豊かに 暮らし続けることができる 地域（まち）づくり」を基本理念に、市町社会福祉協議会と連携して福祉の輪づくり運動を進めています。

この調査は、自治会・町内会区における福祉活動の推進にむけて、自治会福祉部の実態についてお聞きし、今後の活動展開の方向性や活動に対する支援のあり方を検討するために実施させていただくものです。

この調査は、無記名であり、結果は数字で統計的に処理し、御回答いただく各自治会福祉部の実態がそのまま公表されることは決してありませんので、ありのままをお答えください。

- 1 この調査は自治会福祉部を調査対象とし、体制や活動内容等についておたずねいたしておりますので、体制や活動内容等を御存知の方がお答えください。
- 2 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。なお、質問により、「あてはまるものすべてに」、「ひとつだけ」等回答の仕方が異なる場合がありますので注意してください。
- 3 回答の記入は、鉛筆でもボールペンでも構いません。
- 4 すべての質問に御回答いただきましたら、返信用封筒にて、平成27年10月2日（金）までに返送してください。

【本調査に関するお問い合わせ先】

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉班
〒753-0072 山口市大手町9-6 TEL (083) - 924-2828
担当：内田、村田

【はじめに、あなた御自身のことがらについておたずねします。】

※ 調査結果を統計的に分析するために必要となりますので、必ずすべての質問にお答えください。

問1 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。 当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|-------|-------|---------|
| 1 下関市 | 2 宇部市 | 3 山口市 | 4 萩市 |
| 5 防府市 | 6 岩国市 | 7 長門市 | 8 周防大島町 |
| 9 田布施町 | | | |

問2 あなたは自治会福祉部でどのような役職を担っておられますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、複数の役職を務めておられる場合は主な役職を選んでください。

- 1 部長（リーダー） 2 副部長
 3 1・2以外の役員（具体的に： ）
 4 その他（具体的に： ）

問3 あなたの自治会福祉部における活動歴はどのくらいですか。

約 _____ 年

【あなたがお住まいになっておられる自治会・町内会についてお尋ねします】

問4 自治会・町内会区の全世帯数はどのくらいですか。

約 _____ 世帯

問5 問4でお答えいただいた世帯の内、自治会・町内会に加入している世帯はどのくらいですか。

約 _____ 世帯

問6 自治会・町内会のある地区の住まいの特徴はどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 戸建て住宅のみの地域
 2 戸建て住宅がほとんどであるが一部集合住宅がある地域
 3 マンションなどの集合住宅のみの地域
 4 マンションなどの集合住宅がほとんどであるが一部戸建て住宅がある地域
 5 戸建てと集合住宅が混在する地域

問7 自治会・町内会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 農村・漁村部 2 郊外住宅地 3 町中の密集地
 4 商店街 5 工場街 6 その他(具体的に：)

問8 自治会・町内会の設立時期はいつごろですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 昭和30年代以前 2 昭和40～60年代
 3 平成元年～20年 4 平成21年以降 5 わからない

問9 現在の自治会・町内会の会長の選出方法はどれにあてはまりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 輪番制（当番制） 2 投票制 3 話し合い
 4 くじ引き 5 前任者の指名 6 その他(具体的に：)

問10 現在の自治会・町内会の会長の在職年数は何年くらいですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 1年以内 2 2～3年 3 4～5年
 4 6年～10年 5 11～20年 6 21年以上

問1 1 福祉員は、多くの場合自治会長の推薦をもとに社会福祉協議会会長が委嘱しますが、推薦する人を決める方法はどれにあてはまりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、自治会・町内会に福祉員が複数いらっしゃる場合、最も近い時期に福祉員を委嘱された人の場合を選んでください。

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1 輪番制（当番制） | 2 投票制 | 3 話し合い |
| 4 くじ引き | 5 自治会・町内会長の指名 | 6 前任者の指名 |
| 7 その他（具体的に： | | ） |

問1 2 福祉員の在職年数は何年ぐらいですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。なお、自治会・町内会に福祉員が複数いらっしゃる場合、最も長く在職されておられる方の場合を選んでください。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 1年以内 | 2 2～3年 | 3 4～5年 |
| 4 6年～10年 | 5 11～20年 | 6 21年以上 |

問1 3 自治会・町内会で実施されている活動はどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

【住環境の整備】

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 地域の清掃や美化 | 2 ごみ処理・収集 |
| 3 地域トラブルの調整（隣家の騒音など） | |

【親睦・文化活動】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 4 祭りの実施 | 5 スポーツイベントや文化活動 |
| 6 伝統芸能や文化財の保護 | 7 慶弔の世話 |

【生活安全の確保】

- | | |
|-------------|-------------|
| 8 防災（自然災害） | 9 消防（予防・消火） |
| 10 犯罪・非行の防止 | 11 交通安全の指導 |

【公共施設の管理】

- | | |
|---------------|--------------------|
| 12 掲示板の管理 | 13 集会所や児童館の管理 |
| 14 生活道路や街灯の管理 | 15 上下水道の管理 |
| 16 用水路の管理 | 17 墓地や寺社、協会の管理への協力 |

【厚生・福祉への支援】

- | | | |
|--------------|-----------|-----------|
| 18 乳幼児の保育支援 | 19 子育ての支援 | |
| 20 男女共同参画の支援 | 21 高齢者の支援 | 22 障害者の支援 |

【教育への支援】

- | | |
|----------------|----------------|
| 23 児童の遊びや教育の支援 | 24 青少年の健全育成の支援 |
| 25 学校教育の協力 | |

【環境問題への取組み】

- | | |
|--------------|-----------------|
| 26 公害や騒音防止 | 27 リサイクルや小エネルギー |
| 28 自然保護や環境教育 | |

【その他の活動】

- | | |
|---------------|----------------|
| 29 農林水産業の共同作業 | 30 まちづくりやまちおこし |
| 31 国際交流への協力 | 32 選挙での候補者の支持 |
| 33 その他（具体的に： | ） |

問14 自治会・町内会運営の課題として当てはまるものはどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 役員のなり手がいない
- 2 会員の高齢化
- 3 特定の役員や会員に負担が集中する
- 4 行政からの依頼事項が多い
- 5 行事や活動の参加者が少ない
- 6 未加入世帯の増加
- 7 自治会・町内会館（集落集会所）といった拠点施設がない
- 8 新旧の住民の交流が図りにくい
- 9 活動費の不足
- 10 特に課題はない
- 11 その他(具体的に: _____)

【自治会福祉部活動についてお尋ねします】

自治会福祉部活動とは…

自治会福祉部は、自治会・町内会における組織的・継続的な小地域福祉活動を推進するための部門です。部員は自治会・町内会長、民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問員に加え、自治会・町内会ごとの実情に応じて様々な関係者が参加され、活動されています。

自治会福祉部では一般的に、自治会・町内会区における様々な福祉問題や要援助者について話し合う運営会議と、一人暮らし高齢者などの要援助者への声かけや見守り活動を基本活動としています。

また、地域の実情に応じて、ふれあい・いきいきサロン活動や高齢者のゴミだしや買い物の手伝いといった日常生活支援活動、福祉マップの作成や住民意識調査・アンケート等の実施など様々な内容の活動が取り組まれています。

問15 自治会福祉部の設置時期はいつごろですか。

平成 _____ 年頃

問16 自治会福祉部が設置された経緯はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会の中で高齢化が進むなど福祉課題が深刻になった（なると思われた）ため
- 2 自治会福祉部を立ち上げようという音頭を取る人（リーダー）がいたため
- 3 近隣の自治会・町内会でも立ち上げるところが増えてきたため
- 4 市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会からの働きかけがあったため
⇒付問16-1、16-2にお答えください。
- 5 その他（具体的に: _____)

問16で「4 市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会からの働きかけがあったため」と回答された方にお尋ねします。

付問16-1 働きかけの内容はどのような内容でしたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会の会合等において自治会福祉部について説明をしてくれた
- 2 助成金などの金銭的な支援をしてくれた
- 3 既に取り組んでいる地域の紹介や交流の支援をしてくれた
- 4 どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供をしてくれた
- 5 自治会・町内会内の合意形成にあたり、助言や資料の提供をしてくれた
- 6 活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者を明確にしてくれた
- 7 その他（具体的に： _____）

付問16-2 付問16-1の働きかけの内容で、最も役に立ったものはどれですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会の会合等においての自治会福祉部についての説明
- 2 助成金などの金銭的な支援
- 3 既に取り組んでいる地域の紹介や交流の支援
- 4 どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供
- 5 自治会・町内会内の合意形成にあたっての、助言や資料の提供
- 6 活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者を明確化
- 7 その他（具体的に： _____）

問17 自治会福祉部の立ち上げに際して困難であったことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会福祉部に関わる住民の負担が増える懸念があった
- 2 活動内容について住民の理解が得られない
- 3 活動に協力してくれる人が集まらない
- 4 活動費がない
- 5 活動拠点がなくない
- 6 具体的にどのような活動を行ったらよいか分からない
- 7 自治会福祉部を立ち上げ方が分からない
- 8 活動全般についてどこに相談したらよいか分からない
- 9 住民の個人情報について、必要な配慮などが分からない
- 10 既に民生委員・児童委員や福祉員等により取り組まれている活動であるので、その人たちの活動とどう整理をつけたらよいか分からない
- 11 既に別の部会（防災部等）等により取り組まれている活動であるので、その部会とどう整理をつけたらよいか分からない
- 12 その他（具体的に： _____）

問18 自治会福祉部の規約や運営規程など整備されていますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 整備している 2 整備していない 3 わからない
→ 差支えなければ調査票の返送の際に同封ください。

問 19 自治会福祉部の活動資金等について、平成 26 年度の収支決算をお答えください。
平成 26 年度収支決算額 _____ 円 ①

<収入>

自治会・町内会費からの収入	円	} ②
自治会・町内会費以外からの収入		
活動助成金 ⇒付問 19-1にお答えください。	円	
その他 ⇒付問 19-2にお答えください。	円	

<支出>

事務用品など部会の設置・維持に係る支出	円	} ③
需給調整会議やサロン、見守り活動など活動を実施するために係る支出	円	
次年度への繰越金	円	

※「平成 26 年度収支決算額」①、収入合計②、支出合計③は一致するように記入してください。

問 19 で<収入>「自治会・町内会費以外からの収入」で活動助成金の金額を記入された方にお尋ねします。

付問 19-1 活動助成金ほどの機関や団体から受け取っていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 市・町・地区社会福祉協議会 2 市・町行政
3 その他（具体的に： _____)

問 19 で<収入>「その他」で活動助成金の金額を記入された方にお尋ねします。

付問 19-2 具体的にどのような収入がありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 バザーによる収入 2 廃品回収等による収入
3 部が所有する財産等の貸し出しによる収入
4 部が制作したものの販売等による収入
5 その他（具体的に： _____)

問 20 自治会福祉部の「役員」（部の活動方針を決めるなどの中心的なメンバー）の人数をお答えください。またその選出母体について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

役員数 _____ 人

<役員を選出母体の内訳>

- 1 民生委員・児童委員 2 福祉員 3 自治会・町内会長
4 友愛訪問員 5 ボランティア団体会員 6 婦人会会員
7 子ども会会員 8 老人クラブ会員 9 班長
10 その他（具体的に： _____)

問2 1 「自治会福祉部の役員」以外の人で、自治会福祉部の活動に参加されている方（「一般活動者」）がおられますか。おられるようでしたら、その人数をお答えください。またその選出母体について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

例) 役員と活動者が全員同じ人である場合は0人となります。

一般活動者数 _____人

<一般活動者の選出母体の内訳>

- | | | |
|---------------------|--------------|------------|
| 1 民生委員・児童委員 | 2 福祉員 | 3 自治会・町内会長 |
| 4 友愛訪問員 | 5 ボランティア団体会員 | 6 婦人会会員 |
| 7 子ども会会員 | 8 老人クラブ会員 | 9 班長 |
| 10 その他（具体的に： _____） | | |

問2 2 現在の自治会福祉部の部長（リーダー）の役職はどなたですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | |
|---------------------|--------------|------------|
| 1 民生委員・児童委員 | 2 福祉員 | 3 自治会・町内会長 |
| 4 友愛訪問員 | 5 ボランティア団体会員 | 6 婦人会会員 |
| 7 子ども会会員 | 8 老人クラブ会員 | 9 班長 |
| 10 その他（具体的に： _____） | | |

問2 3 自治会福祉部の部長（リーダー）はどのように決めておられますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 特定の役職の部員が当て職として部長（リーダー）になっている |
| 2 役職によらず適任と思われる人が部長（リーダー）になっている |
| 3 その他（具体的に： _____） |

問2 4 自治会福祉部が活動を実施するための活動の拠点はありますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問2 4で「1 ある」と回答された方にお尋ねします。

付問2 4-1 活動の拠点となっている場所はどちらですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自治会・町内会館（集落集会所） | 2 公民館・地域交流センター |
| 3 自治会福祉部長等部員の自宅 | 4 その他（具体的に： _____） |

問25 自治会福祉部が実施している活動をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 運営会議・需給調整会議（自治会福祉部員による、要援助者についての情報交換、地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動などについての話し合い）の開催
- 2 住民座談会（住民みんなで地域の課題を話し合い、共有する場）の開催
- 3 ひとり暮らし高齢者など要援助者への声かけ、見守り、訪問活動
- 4 日常生活の支援（高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援）の実施
- 5 ふれあい・いきいきサロンの開催
- 6 自治会福祉部だより等の広報紙の発行
- 7 福祉マップの作成（災害時要援助者の支援方法の確認）
- 8 住民意識調査・アンケート等の実施
- 9 福祉講座や勉強会の開催
- 10 地域の環境整備・美化活動（清掃活動、公園や花壇の整備等）への協力
- 11 地域の親睦・文化活動（敬老会、お祭りのバザー等）への協力
- 12 地域の親睦・文化活動（運動会等のスポーツイベントや文化活動）への協力
- 13 その他（具体的に： _____)

問26 自治会福祉部活動を設置運営していく上での課題について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 部員の人数が少ない／部員が集まらない
- 2 部員の高齢化等により思うような活動が実施できない
- 3 特定の部員しか運営、活動に関わらない
- 4 活動費が不足している
- 5 活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない
- 6 要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどができない
- 7 住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある
- 8 要援助者等の自宅を訪ねても拒否される
- 9 その他（具体的に： _____)

問27 自治会福祉部が設置されていることによる成果・良い点について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 地域福祉活動の担い手が確保しやすくなる
- 2 自治会・町内会区における小地域福祉活動や要援助者の支援についての検討の場となるため、ない場合と比べて、福祉員や民生委員・児童委員などの地域福祉の担い手の負担の軽減になる
- 3 自治会の活動の一環として取組まれるため、活動費を確保しやすくなる
- 4 自治会活動の一環として取組まれるため、見守りが必要な要援助者等からも理解が得やすくなる
- 5 需給調整会議等で、福祉員や民生委員・児童委員など地域福祉の担い手や団体等の取組や情報が集約・共有され、効果的な活動になる
- 6 一人の地域福祉の担い手では実施できない活動も自治会福祉部活動として組織的に実施できる
- 7 自治会として住民の福祉課題・生活課題を把握することができる
- 8 自治会福祉部活動を実施することで住民が自治会活動や自治会への加入の必要性の理解につながる
- 9 その他（具体的に： _____)

問28 自治会福祉部活動を進めるために、どのような機会に啓発活動を行うとよいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 社会福祉協議会の広報誌やホームページを活用して活動状況を広く啓発する
- 2 住民団体（自治会、地域づくり団体等）の広報誌やホームページを活用して活動状況を広く啓発する
- 3 自治会・町内会の会合等において活動状況を報告する
- 4 老人クラブ、婦人会、子ども会、サロン等の集会において活動状況を報告する
- 5 連自治会や社会福祉協議会が主催して、活動報告会や立ち上げ相談会を開催する
- 6 イベント・バザー・募金活動などで、活動状況を報告する
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 わからない

問29 自治会福祉部活動を進めていく上で、市町社会福祉協議会または地区社会福祉協議会等に支援してほしいことはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 助成金などの金銭的な支援をしてほしい
- 2 他の自治会福祉部との交流等の支援を行ってほしい
- 3 運営会議・需給調整会議（要援助者についての情報交換、住民に共通する地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動についての話し合いなど）の開催方法などについて助言や情報提供してほしい
- 4 日常生活支援（高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援）の実施方法などについて助言や情報提供してほしい
- 5 ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ方や活動内容などについて助言や情報提供してほしい
- 6 福祉マップ（災害時要援助者の支援方法の確認）の作成方法などについて助言や情報提供してほしい
- 7 住民意識調査・アンケート等の実施方法について助言や情報提供してほしい
- 8 福祉講座や勉強会の実施方法などについて助言や情報提供してほしい
- 9 福祉講座や勉強会の講師の斡旋をしてほしい
- 10 住民座談会（地域の課題を住民同士で話し合い共有する場）の効果的な開催方法などについて助言や情報提供してほしい
- 11 活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者がほしい
- 12 その他（具体的に： _____)

問30 そのほか、自治会福祉部活動について、ご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

[_____]

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2 自治会・町内会における福祉活動に関する

実態調査

「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

《調査の概要》

調査実施主体：社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

調査時期：2015(平成27)年10月

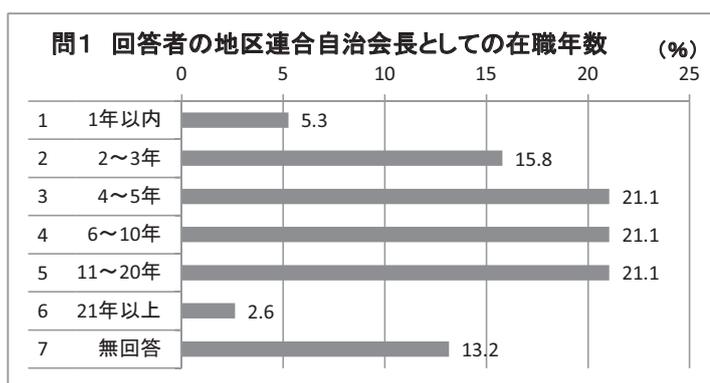
調査方法：研修会における配布、返信用封筒による回収

調査対象：平成27年度山口県自治会連合会研修会参加者（地区連合自治会長）

配票回収数：70票、回収数38票、回収率54.2%

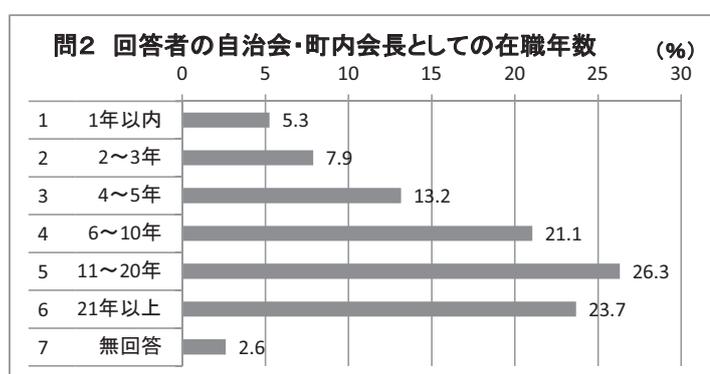
問1 あなたの地区連合自治会長としての在職年数は何年ぐらいですか。

	比率
1 1年以内	5.3
2 2～3年	15.8
3 4～5年	21.1
4 6～10年	21.1
5 11～20年	21.1
6 21年以上	2.6
7 無回答	13.2
合計	100.0



問2 あなたの自治会・町内会長としての在職年数は何年ぐらいですか。

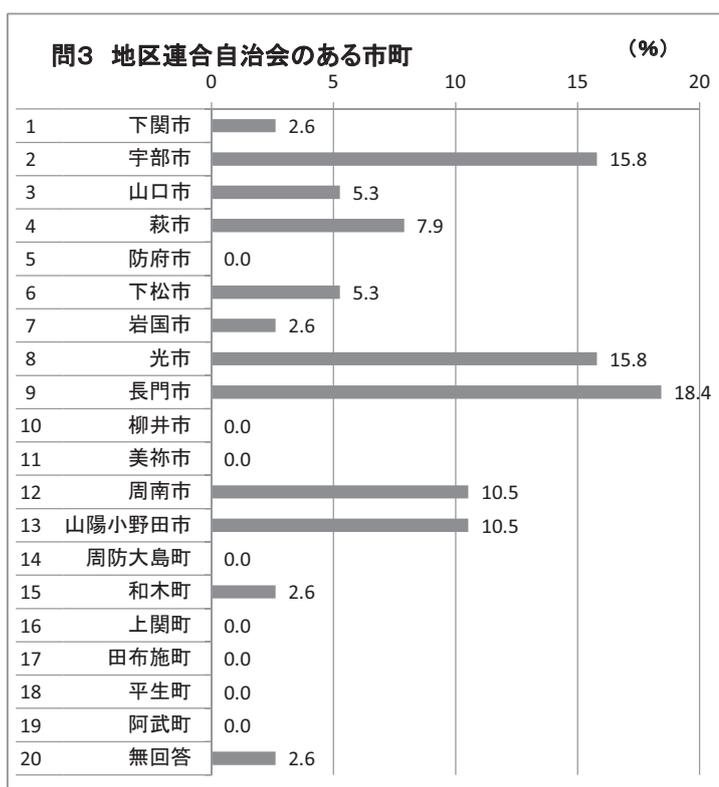
	比率
1 1年以内	5.3
2 2～3年	7.9
3 4～5年	13.2
4 6～10年	21.1
5 11～20年	26.3
6 21年以上	23.7
7 無回答	2.6
合計	100.0



「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問3 地区連合自治会のある市町はどこですか。

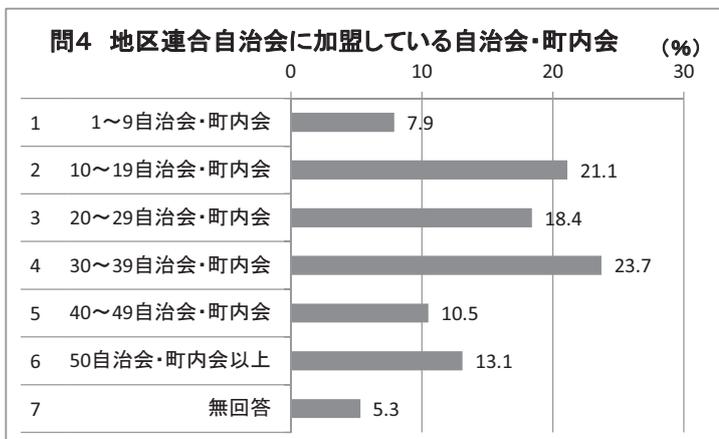
	比率
1 下関市	2.6
2 宇部市	15.8
3 山口市	5.3
4 萩市	7.9
5 防府市	0.0
6 下松市	5.3
7 岩国市	2.6
8 光市	15.8
9 長門市	18.4
10 柳井市	0.0
11 美祢市	0.0
12 周南市	10.5
13 山陽小野田市	10.5
14 周防大島町	0.0
15 和木町	2.6
16 上関町	0.0
17 田布施町	0.0
18 平生町	0.0
19 阿武町	0.0
20 無回答	2.6
合計	100.0



問4 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会はいくつありますか。

	比率
1 1～9自治会・町内会	7.9
2 10～19自治会・町内会	21.1
3 20～29自治会・町内会	18.4
4 30～39自治会・町内会	23.7
5 40～49自治会・町内会	10.5
6 50自治会・町内会以上	13.1
7 無回答	5.3
合計	100.0

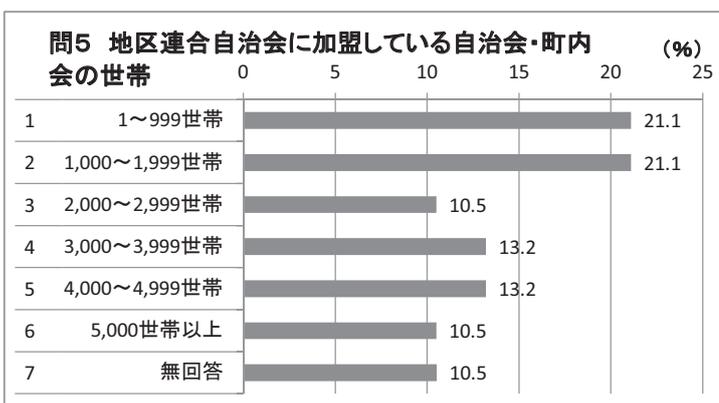
平均 32.6自治会・町内会



問5 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会の世帯は何世帯ぐらいですか。

	比率
1 1～999世帯	21.1
2 1,000～1,999世帯	21.1
3 2,000～2,999世帯	10.5
4 3,000～3,999世帯	13.2
5 4,000～4,999世帯	13.2
6 5,000世帯以上	10.5
7 無回答	10.5
合計	100.0

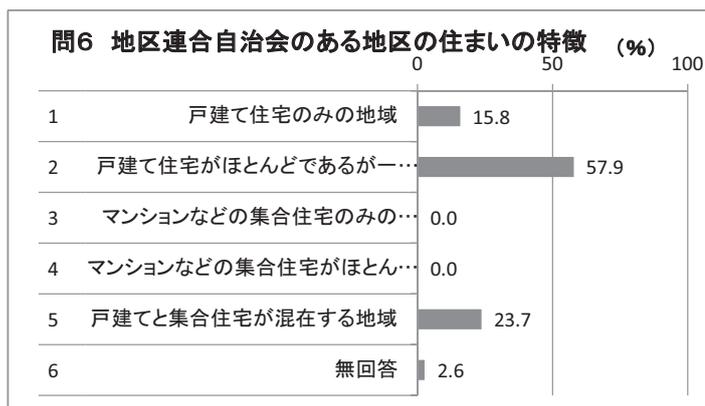
平均 2,579世帯



「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

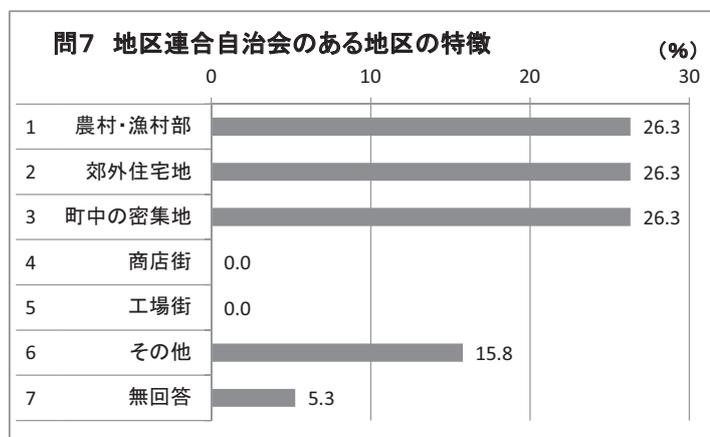
問6 地区連合自治会のある地区の住まいの特徴はどれにあたりますか。

	比率
1 戸建て住宅のみの地域	15.8
2 戸建て住宅がほとんどであるが一部集合住宅がある地域	57.9
3 マンションなどの集合住宅のみの地域	0.0
4 マンションなどの集合住宅がほとんどであるが一部戸建て住宅がある地域	0.0
5 戸建てと集合住宅が混在する地域	23.7
6 無回答	2.6
合計	100.0



問7 地区連合自治会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。

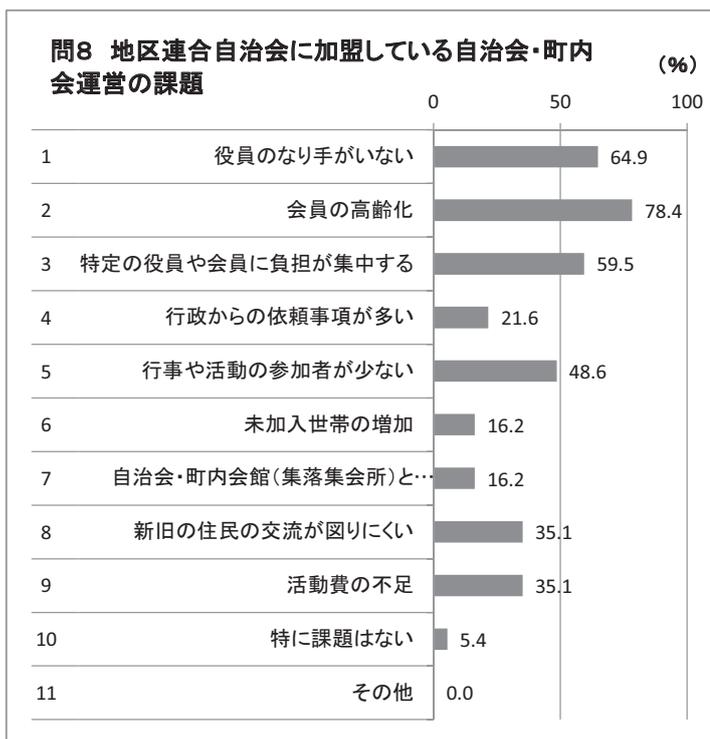
	比率
1 農村・漁村部	26.3
2 郊外住宅地	26.3
3 町中の密集地	26.3
4 商店街	0.0
5 工場街	0.0
6 その他	15.8
7 無回答	5.3
合計	100.0



問8 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会運営の課題として当てはまるものはどれですか。

	有効回収数からの比率
1 役員のなり手がいない	64.9
2 会員の高齢化	78.4
3 特定の役員や会員に負担が集中する	59.5
4 行政からの依頼事項が多い	21.6
5 行事や活動の参加者が少ない	48.6
6 未加入世帯の増加	16.2
7 自治会・町内会館(集落集会所)といった拠点施設がない	16.2
8 新旧の住民の交流が図りにくい	35.1
9 活動費の不足	35.1
10 特に課題はない	5.4
11 その他	0.0
合計	

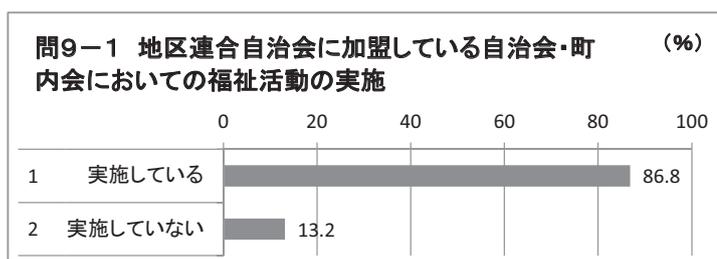
(有効回収数:37)



「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問9-1 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会において、福祉活動は実施されていますか。

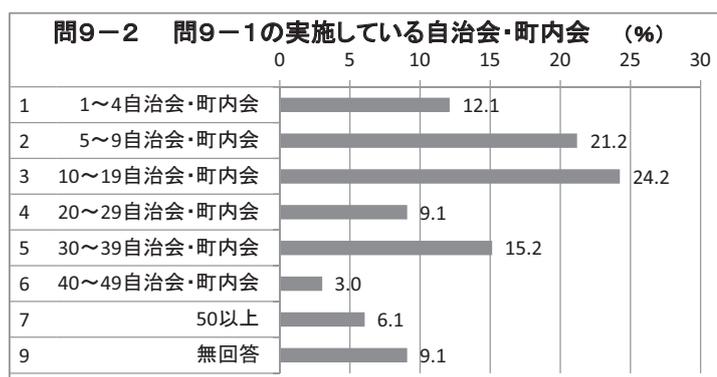
	比率
1 実施している	86.8
2 実施していない	13.2
合計	100.0



問9-2 問9-1で「1 実施している」場合、実施している自治会・町内会はいくつありますか。

	比率
1 1~4自治会・町内会	12.1
2 5~9自治会・町内会	21.2
3 10~19自治会・町内会	24.2
4 20~29自治会・町内会	9.1
5 30~39自治会・町内会	15.2
6 40~49自治会・町内会	3.0
7 50以上	6.1
9 無回答	9.1
合計	100.0

平均 17.8自治会・町内会



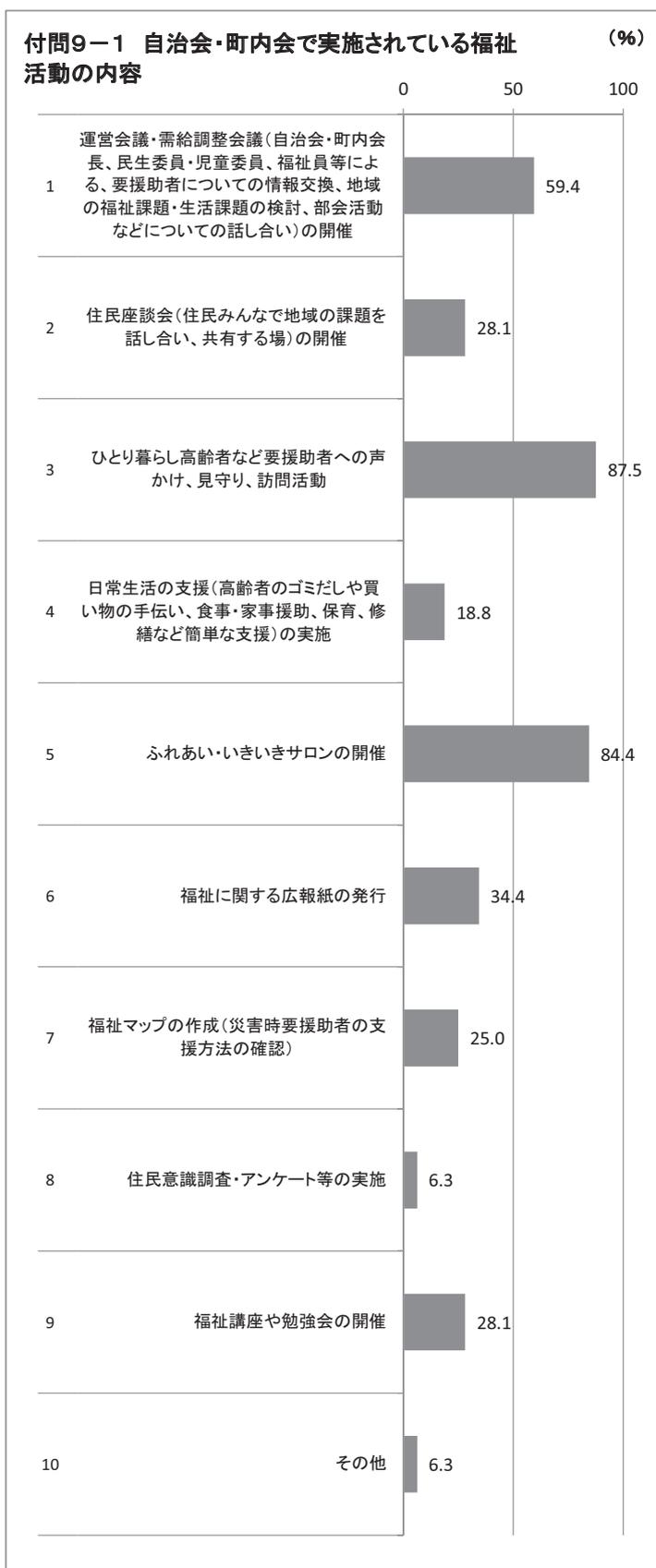
「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問9で「1 実施している」と回答された方にお尋ねします。

付問9-1 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、どのような活動が実施されていますか。

	有効回収数からの比率
1 運営会議・需給調整会議(自治会・町内会長、民生委員・児童委員、福祉員等による、要援助者についての情報交換、地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動などについての話し合い)の開催	59.4
2 住民座談会(住民みんなで地域の課題を話し合い、共有する場)の開催	28.1
3 ひとり暮らし高齢者など要援助者への声かけ、見守り、訪問活動	87.5
4 日常生活の支援(高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援)の実施	18.8
5 ふれあい・いきいきサロンの開催	84.4
6 福祉に関する広報紙の発行	34.4
7 福祉マップの作成(災害時要援助者の支援方法の確認)	25.0
8 住民意識調査・アンケート等の実施	6.3
9 福祉講座や勉強会の開催	28.1
10 その他	6.3
合計	

(有効回収数:32)

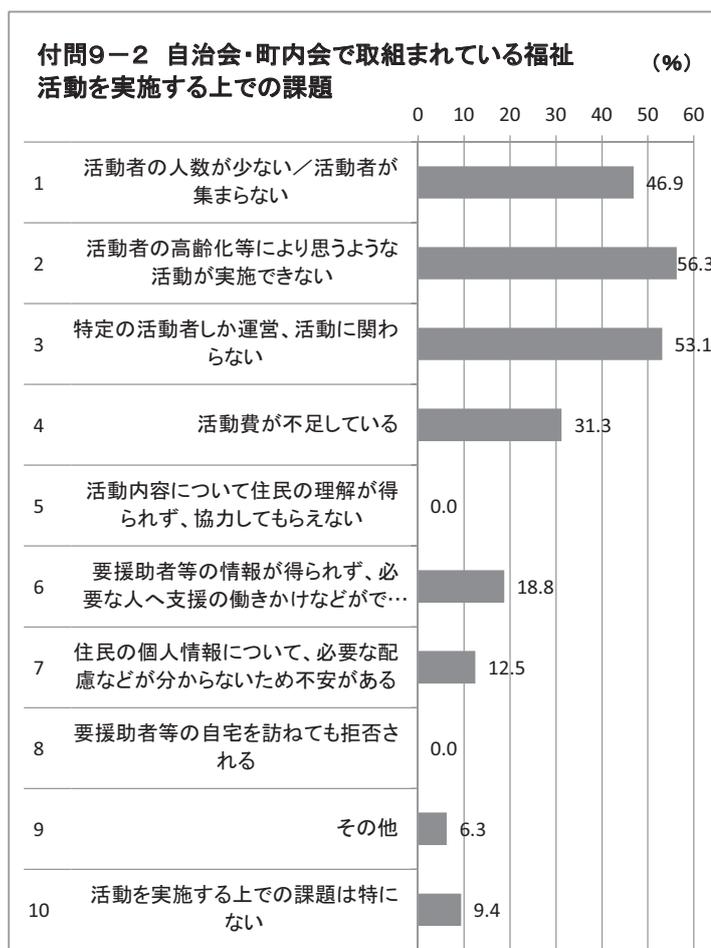


「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

付問9-2 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、活動を実施する上での課題についてお答えください。

		有効回収数からの比率
1	活動者の人数が少ない／活動者が集まらない	46.9
2	活動者の高齢化等により思うような活動が実施できない	56.3
3	特定の活動者しか運営、活動に関わらない	53.1
4	活動費が不足している	31.3
5	活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない	0.0
6	要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどができない	18.8
7	住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある	12.5
8	要援助者等の自宅を訪ねても拒否される	0.0
9	その他	6.3
10	活動を実施する上での課題は特にない	9.4
	合計	

(有効回収数:32)

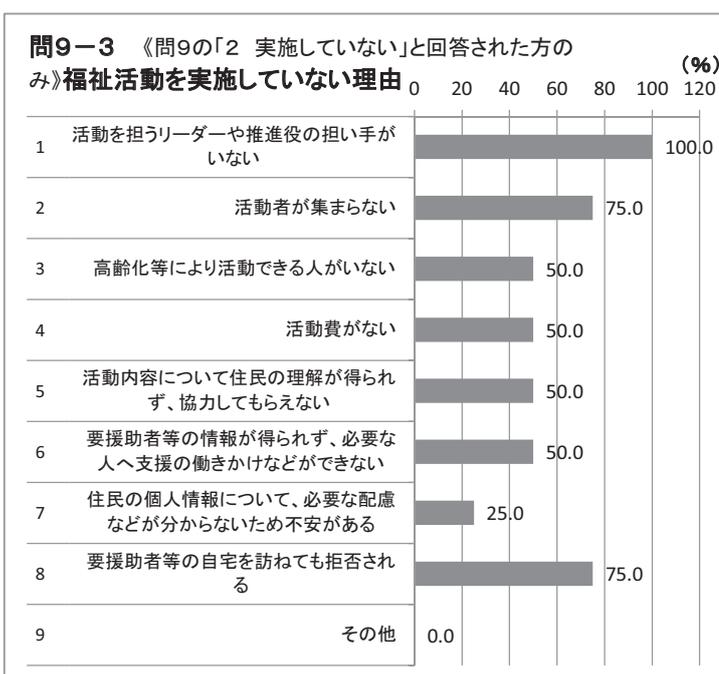


問9で「2 実施していない」と回答された方にお尋ねします。

付問9-3 福祉活動を実施していない理由について、当てはまるものすべてをお答えください。

		有効回収数からの比率
1	活動を担うリーダーや推進役の担い手がない	100.0
2	活動者が集まらない	75.0
3	高齢化等により活動できる人がいない	50.0
4	活動費がない	50.0
5	活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない	50.0
6	要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどができない	50.0
7	住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある	25.0
8	要援助者等の自宅を訪ねても拒否される	75.0
9	その他	0.0
	合計	

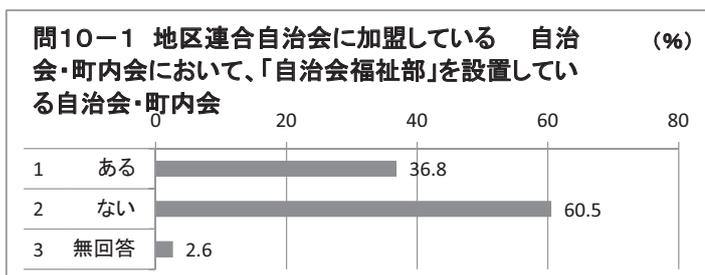
(有効回収数:4)



「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問10-1 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会において、「自治会福祉部」を設置している自治会・町内会はありますか。

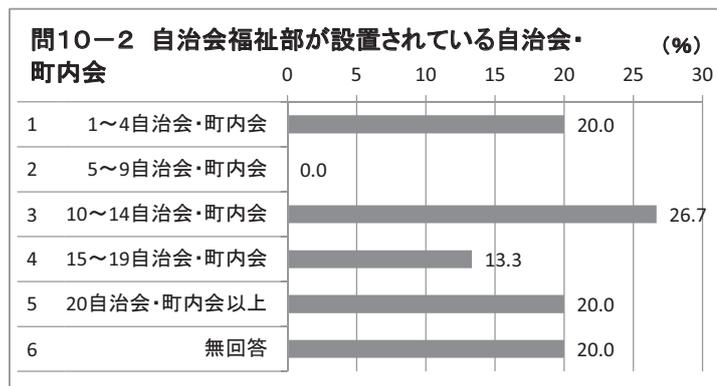
	比率
1 ある	36.8
2 ない	60.5
3 無回答	2.6
合計	100.0



問10-2 自治会福祉部が設置されている自治会・町内会はいくつありますか。

	比率
1 1~4自治会・町内会	20.0
2 5~9自治会・町内会	0.0
3 10~14自治会・町内会	26.7
4 15~19自治会・町内会	13.3
5 20自治会・町内会以上	20.0
6 無回答	20.0
合計	100.0

平均 16.1自治会・町内会

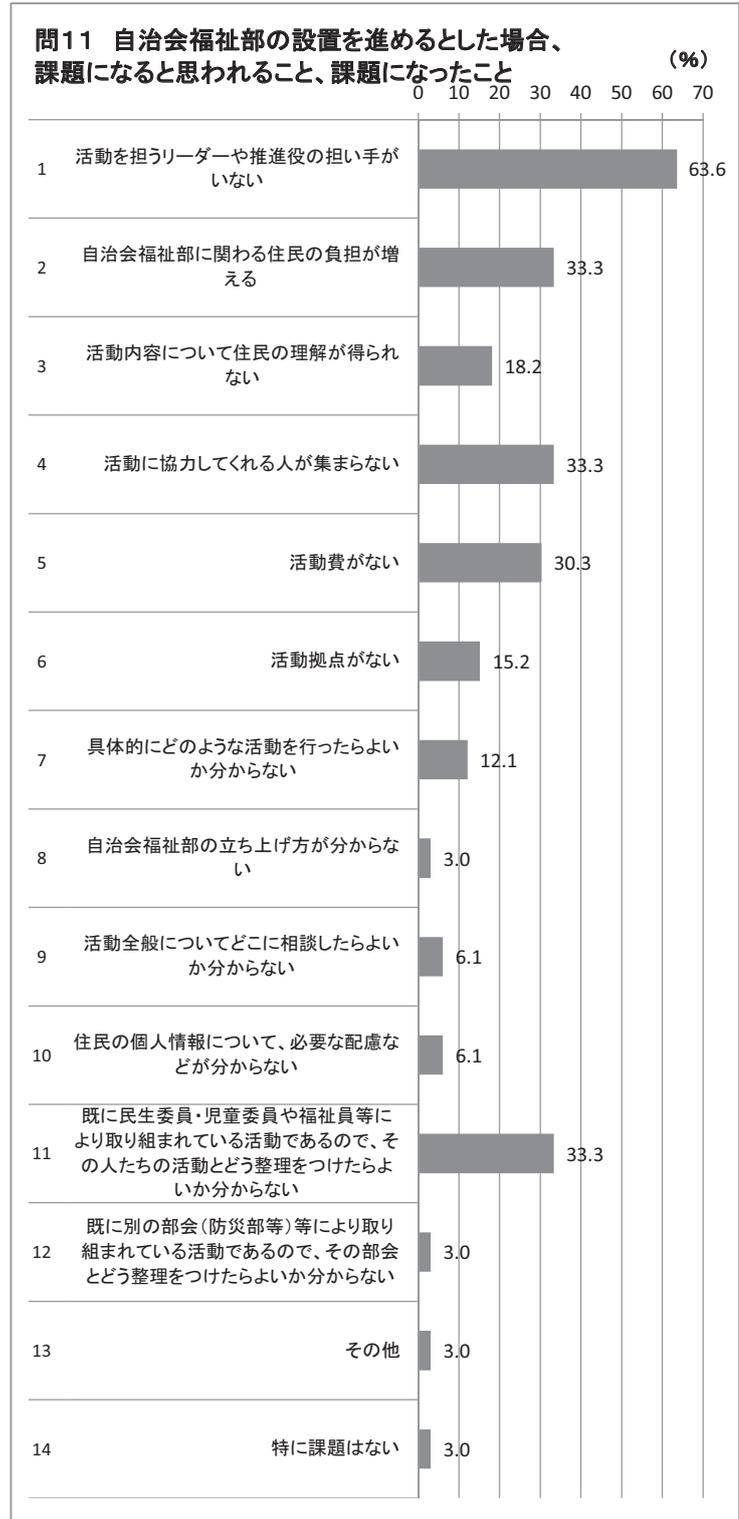


「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問11 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、課題になると思われること、あるいは課題になったことはどれですか。

		有効回収数からの比率
1	活動を担うリーダーや推進役の担い手がいない	63.6
2	自治会福祉部に関わる住民の負担が増える	33.3
3	活動内容について住民の理解が得られない	18.2
4	活動に協力してくれる人が集まらない	33.3
5	活動費がない	30.3
6	活動拠点がない	15.2
7	具体的にどのような活動を行ったらよいか分からない	12.1
8	自治会福祉部の立ち上げ方が分からない	3.0
9	活動全般についてどこに相談したらよいか分からない	6.1
10	住民の個人情報について、必要な配慮などが分からない	6.1
11	既に民生委員・児童委員や福祉員等により取り組まれている活動であるので、その人たちの活動とどう整理をつけたらよいか分からない	33.3
12	既に別の部会(防災部等)等により取り組まれている活動であるので、その部会とどう整理をつけたらよいか分からない	3.0
13	その他	3.0
14	特に課題はない	3.0
	合計	

(有効回収数:33)



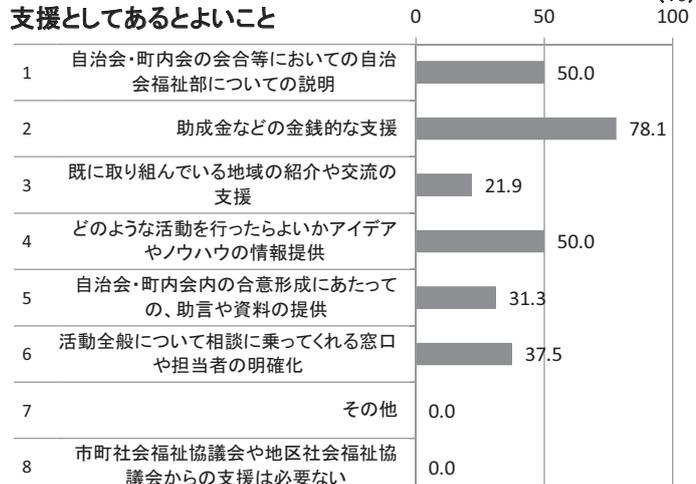
「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

問12 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、市町社会福祉協議会や地区社会福祉協議会からの支援としてあるとよいことはどれですか。

		有効回収数からの比率
1	自治会・町内会の会合等における自治会福祉部についての説明	50.0
2	助成金などの金銭的な支援	78.1
3	既に取り組んでいる地域の紹介や交流の支援	21.9
4	どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供	50.0
5	自治会・町内会内の合意形成にあたっての、助言や資料の提供	31.3
6	活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者の明確化	37.5
7	その他	0.0
8	市町社会福祉協議会や地区社会福祉協議会からの支援は必要ない	0.0
	合計	

(有効回収数:32)

問12 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、市町社会福祉協議会や地区社会福祉協議会からの支援としてあるとよいこと

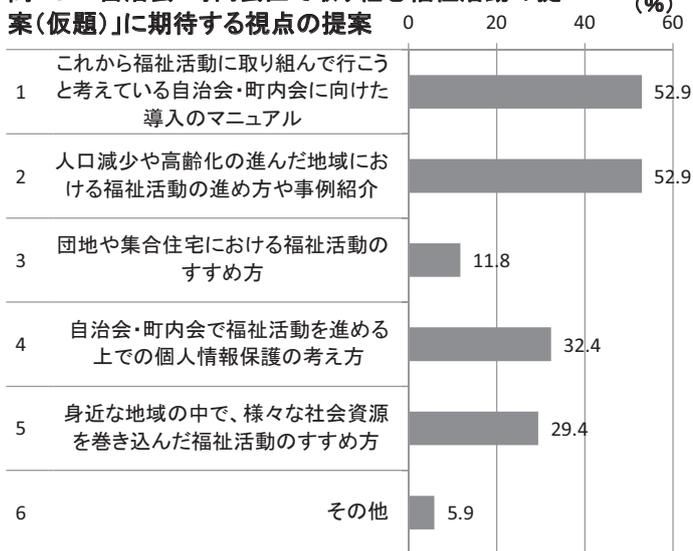


問13 「山口県地域福祉推進委員会 地域福祉課題提言部会」では、今後「自治会・町内会区で取り組む福祉活動の提案(仮題)」を取りまとめる計画ですが、どのような視点の提案を期待しますか。

		有効回収数からの比率
1	これから福祉活動に取り組んで行こうと考えている自治会・町内会に向けた導入のマニュアル	52.9
2	人口減少や高齢化の進んだ地域における福祉活動の進め方や事例紹介	52.9
3	団地や集合住宅における福祉活動のすすめ方	11.8
4	自治会・町内会で福祉活動を進める上での個人情報保護の考え方	32.4
5	身近な地域の中で、様々な社会資源を巻き込んだ福祉活動のすすめ方	29.4
6	その他	5.9
	合計	

(有効回収数:34)

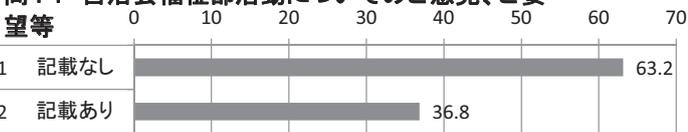
問13 「自治会・町内会区で取り組む福祉活動の提案(仮題)」に期待する視点の提案



問14 自治会福祉部活動について、ご意見、ご要望等

		比率
1	記載なし	63.2
2	記載あり	36.8
	合計	100.0

問14 自治会福祉部活動についてのご意見、ご要望等



「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

自由記述回答結果

※個人が特定される可能性のある情報は除かせていただきました。

※またそのために記入されている内容を意味が変わらない程度に一部改編した部分があります。

番号	問7 地区連合自治会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	商店街と住宅地の中間
2	商店街を含めて町中の密集地
3	混在
4	農林水産部に住宅地の混在

番号	付問9-1 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、どのような活動が実施されていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	他市の社協訪問と研修
2	社会福祉協議会を含めたコミュニティ協議会として活動している

番号	付問9-2 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、活動を実施する上での課題について、当てはまるものすべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	自治会員が対象であって未加入世帯は声をかけていない。
2	給食弁当。いきいきサロン開催

番号	問11 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、課題になると思われること、あるいは課題になったことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。(「その他」に記入のあったもの)
1	福祉が重複しないか。

番号	問13 「山口県地域福祉推進委員会 地域福祉課題提言部会」では、今後「自治会・町内会区で取り組む福祉活動の提案(仮題)」を取りまとめる計画ですが、どのような視点の提案を期待しますか。(「その他」に記入のあったもの)
1	自治会福祉部は自治会で対応できない。
2	通常の自治会活動を活発に推進することが地域の交流と福祉活動に結びつくものと考えます。東北大地震の後は防災活動を推進すること。

番号	問14 そのほか、自治会福祉部活動について、ご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。
1	小さな自治会なので設置は難しいと思います。
2	自治会は社会福祉協議会の下部組織ではない。自治会組織については自治会で考えるので協議会が周知すべきでない。福祉部の設置は認めない。
3	自治会より推選した福祉員によって地区社協を組織しその組織で福祉活動をしている。
4	福祉活動は、地区社協が実施している
5	38世帯の小規模自治会のため、自治会長が一括取扱う事が最善と考えている。
6	・要援助者が援助を拒否するケースがあり対応がむずかしい。 ・地域によっては高齢化がすすみ高齢者占率が、近い将来70%近くになる可能性がある所あり、老々活動になる。
7	やれば有効と思われることは多いが活動できる人が少ない。

「自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査」結果

8	<p>○当連合自治会では社会福祉協議会に加入しており、活動として福祉部をつくる必要はありません。</p> <p>○各単位自治会には福祉員、民生委員児童委員、レクスポ委員、環境衛生クリーンリーダー、子供育成会、老人クラブ等々役員が選出され、地域の活動を実施している。</p> <p>○要望として、役員の任期を最低でも2年としたい。</p>
9	<p>民生委員と福祉員との密接な連携対策(福祉員は単位自治会より選出となり無手当である)</p> <p>福祉活動を進めるまで個人情報保護が足かせになっている。</p> <p>福祉活動××財源の源があるが単位自治会には財源がなくそれなりの活動になりがちである。</p>
10	<p>連合自治会、社会福祉協議会が独立しており共有がむつかしい。社協には金がある。連合自治会には金がない。</p>
11	<p>自治会福祉部活動については、地区福祉部協議会会長か民生委員代表があれば又ちがった専門的な意見がきかれると考える。</p>
12	<p>社協との連絡体制の充実をしたい。</p>
13	<p>自治会活動に老人会、こども会等、様々な活動がありますが、これは福祉、これは防災、防犯と色分けすることは難しく市の連合自治会までの活動は一本化(窓口)することが大切。</p>

自治会・町内会における福祉活動に関する実態調査

調査票の御記入にあたってのお願い

山口県社会福祉協議会では、「住み慣れた地域で 誰もが 安心して 心豊かに 暮らし続けることができる 地域（まち）づくり」を基本理念に、市町社会福祉協議会と連携して福祉の輪づくり運動を進めています。

この調査は、自治会・町内会における福祉活動の推進にむけて、自治会・町内会における福祉活動の取組の実態についてお聞きし、今後の活動展開の方向性や活動に対する支援のあり方を検討するために実施させていただくものです。

この調査は、無記名であり、結果は数字で統計的に処理し、御回答いただく自治会・町内会の実態がそのまま公表されることは決してありませんので、ありのままをお答えください。

- 1 この調査は**地区連合自治会長**を調査対象とし、自治会・町内会における福祉に関する実態についておたずねいたしております。

自治会・町内会組織については各地域で様々な呼び方がありますが、本調査においては、

- ① 「基礎自治体内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体（自治会、町内会、町会、部落会、区会、区など）」を「自治会・町内会」と呼びます。
- ② 学区・校区の圏域で複数の「自治会・町内会」で組織される団体を「地区連合自治会」と呼びます。
- ③ 市町の圏域で複数の「地区連合自治会」で組織される団体を「市町自治会連合会」と呼びます。

- 2 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○で囲んでください。なお、質問により、「当てはまるものすべてに」、「ひとつだけ」等回答の仕方が異なる場合がありますので注意してください。
- 3 回答の記入は、鉛筆でもボールペンでも構いません。
- 4 すべての質問に御回答いただきましたら、返信用封筒にて、平成27年10月23日（金）までに返送してください。

【本調査に関するお問い合わせ先】

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉班
〒753-0072 山口市大手町9-6 TEL (083) - 924 - 2828
担当：内田、村田

【あなたの経験年数についてお尋ねします】

問1 あなたの地区連合自治会会長としての在職年数は何年ぐらいですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 1年以内 | 2 2～3年 | 3 4～5年 |
| 4 6年～10年 | 5 11～20年 | 6 21年以上 |

問2 あなたの自治会・町内会長としての在職年数は何年ぐらいですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 1年以内 | 2 2～3年 | 3 4～5年 |
| 4 6年～10年 | 5 11～20年 | 6 21年以上 |

【あなたの住んでおられる地区連合自治会についてお尋ねします】

問3 地区連合自治会のある市町はどこですか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| 1 下関市 | 2 宇部市 | 3 山口市 | 4 萩市 |
| 5 防府市 | 6 下松市 | 7 岩国市 | 8 光市 |
| 9 長門市 | 10 柳井市 | 11 美祢市 | 12 周南市 |
| 13 山陽小野田市 | 14 周防大島町 | 15 和木町 | 16 上関町 |
| 17 田布施町 | 18 平生町 | 19 阿武町 | |

問4 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会はいくつありますか。

_____自治会・町内会

問5 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会の世帯は何世帯ぐらいですか。

約 _____世帯

問6 地区連合自治会のある地区の住まいの特徴はどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- 1 戸建て住宅のみの地域
- 2 戸建て住宅がほとんどであるが一部集合住宅がある地域
- 3 マンションなどの集合住宅のみの地域
- 4 マンションなどの集合住宅がほとんどであるが一部戸建て住宅がある地域
- 5 戸建てと集合住宅が混在する地域

問7 地区連合自治会のある地区の特徴は次のどれにあたりますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------|--------------------|
| 1 農村・漁村部 | 2 郊外住宅地 | 3 町中の密集地 |
| 4 商店街 | 5 工場街 | 6 その他(具体的に: _____) |

問8 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会運営の課題として当てはまるものはどれですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 役員のなり手がいない
- 2 会員の高齢化
- 3 特定の役員や会員に負担が集中する
- 4 行政からの依頼事項が多い
- 5 行事や活動の参加者が少ない
- 6 未加入世帯の増加
- 7 自治会・町内会館（集落集会所）といった拠点施設がない
- 8 新旧の住民の交流が図りにくい
- 9 活動費の不足
- 10 特に課題はない
- 11 その他（具体的に： _____)

【住民どうしの助け合い活動やその「しくみ」づくりについてお尋ねします】

高齢化と世帯人員の減少とともに、ひとり暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯、障害者世帯等が今後ますます増えていくと推計されています。

介護が必要になっても、住み慣れたすまいや地域で少しでも長く安心して生活するためには、地域住民によるサロン活動（食事会等）、戸別見守り訪問活動、軽度の生活支援（買い物代行、ゴミ出し等）を、無理なく続けることのできる「しくみ」をつくる必要があります。

問9 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会において、福祉活動は実施されていますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。また実施している自治会・町内会はいくつありますか。

- 1 実施している 2 実施していない
- 実施している自治会・町内会数 _____ か所

問9で「1 実施している」と回答された方にお尋ねします。

付問9-1 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、どのような活動が実施されていますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 運営会議・需給調整会議（自治会・町内会長、民生委員・児童委員、福祉員等による、要援助者についての情報交換、地域の福祉課題・生活課題の検討、部会活動などについての話し合い）の開催
- 2 住民座談会（住民みんなで地域の課題を話し合い、共有する場）の開催
- 3 ひとり暮らし高齢者など要援助者への声かけ、見守り、訪問活動
- 4 日常生活の支援（高齢者のゴミだしや買い物の手伝い、食事・家事援助、保育、修繕など簡単な支援）の実施
- 5 ふれあい・いきいきサロンの開催
- 6 福祉に関する広報紙の発行
- 7 福祉マップの作成（災害時要援助者の支援方法の確認）
- 8 住民意識調査・アンケート等の実施
- 9 福祉講座や勉強会の開催
- 10 その他（具体的に： _____)

付問9-2 自治会・町内会で取り組まれている福祉活動について、活動を実施する上での課題について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 活動者の人数が少ない／活動者が集まらない
- 2 活動者の高齢化等により思うような活動が実施できない
- 3 特定の活動者しか運営、活動に関わらない
- 4 活動費が不足している
- 5 活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない
- 6 要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどができない
- 7 住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある
- 8 要援助者等の自宅を訪ねても拒否される
- 9 その他（具体的に： _____)
- 10 活動を実施する上での課題は特にない

問9で「2 実施していない」と回答された方にお尋ねします。

問9-3 福祉活動を実施していない理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 活動を担うリーダーや推進役の担い手がない
- 2 活動者が集まらない
- 3 高齢化等により活動できる人がいない
- 4 活動費がない
- 5 活動内容について住民の理解が得られず、協力してもらえない
- 6 要援助者等の情報が得られず、必要な人へ支援の働きかけなどができない
- 7 住民の個人情報について、必要な配慮などが分からないため不安がある
- 8 要援助者等の自宅を訪ねても拒否される
- 9 その他（具体的に： _____)

【自治会福祉部活動についてお尋ねします】

自治会福祉部は、自治会・町内会における組織的・継続的な小地域福祉活動を推進するための部門です。

部員は自治会・町内会長、民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問員に加え、自治会・町内会ごとの実情に応じて様々な関係者が参加され、活動されています。

問10 地区連合自治会に加盟している自治会・町内会において、「自治会福祉部」を設置している自治会・町内会はありますか。当てはまる番号ひとつだけに○をつけてください。また自治会福祉部が設置されている自治会・町内会はいくつありますか。

- 1 ある 2 ない

→ 自治会福祉部が設置されている自治会・町内会数 _____ か所

問11 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、課題になると思われること、あるいは課題になったことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 活動を担うリーダーや推進役の担い手がない
- 2 自治会福祉部に関わる住民の負担が増える
- 3 活動内容について住民の理解が得られない
- 4 活動に協力してくれる人が集まらない
- 5 活動費がない
- 6 活動拠点がない
- 7 具体的にどのような活動を行ったらよいか分からない
- 8 自治会福祉部の立ち上げ方が分からない
- 9 活動全般についてどこに相談したらよいか分からない
- 10 住民の個人情報について、必要な配慮などが分からない
- 11 既に民生委員・児童委員や福祉員等により取り組まれている活動であるので、その人たちの活動とどう整理をつけたらよいか分からない
- 12 既に別の部会（防災部等）等により取り組まれている活動であるので、その部会とどう整理をつけたらよいか分からない
- 13 その他（具体的に： _____)
- 14 特に課題はない

問12 自治会福祉部の設置を進めるとした場合に、市町社会福祉協議会や地区社会福祉協議会からの支援としてあるとよいことはどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 自治会・町内会の会合等における自治会福祉部についての説明
- 2 助成金などの金銭的な支援
- 3 既に取り組んでいる地域の紹介や交流の支援
- 4 どのような活動を行ったらよいかアイデアやノウハウの情報提供
- 5 自治会・町内会内の合意形成にあたっての、助言や資料の提供
- 6 活動全般について相談に乗ってくれる窓口や担当者の明確化
- 7 その他（具体的に： _____)
- 8 市町社会福祉協議会や地区社会福祉協議会からの支援は必要ない

問13 「山口県地域福祉推進委員会 地域福祉課題提言部会」では、今後「自治会・町内会区で取り組む福祉活動の提案（仮題）」を取りまとめる計画ですが、どのような視点の提案を期待しますか。

- 1 これから福祉活動に取り組んで行こうと考えている自治会・町内会に向けた導入のマニュアル
- 2 人口減少や高齢化の進んだ地域における福祉活動の進め方や事例紹介
- 3 団地や集合住宅における福祉活動のすすめ方
- 4 自治会・町内会で福祉活動を進める上での個人情報保護の考え方
- 5 身近な地域の中で、様々な社会資源を巻き込んだ福祉活動のすすめ方
- 6 その他（具体的に： _____)

問14 そのほか、自治会福祉部活動について、ご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

3 「地域福祉推進委員会」及び「地域福祉課題提言部会」委員名簿

「地域福祉推進委員会」委員名簿

◎ 九州大学大学院人間環境学研究院	教授	高野和良
○ 下関市社会福祉協議会	事務局長	山村敏史
美祢市社会福祉協議会	地域福祉課長	羽根一孝
周南市社会福祉協議会	事務局長	有馬俊雅
山口県立大学社会福祉学部	学部長	草平武志
梅光学院大学こども学部	准教授	吉島豊録
山口県自治会連合会	会長	永尾 遜
山口商工会議所	専務理事	上野省一
山口県労働者福祉協議会	専務理事	大塚健二
山口県弁護士会		
高齢者・障害者権利擁護センター委員長		石原詠美子
山口県医師会	常任理事	今村孝子
山口県社会福祉法人経営者協議会		辻中浩司
山口県民生委員児童委員協議会	副会長	野々村壽代
山口県老人クラブ連合会	会長	西川三代子
やまぐち県民ネット21	理事	伊藤 彰
山口県共同募金会	常務理事兼事務局長	藤田惠一郎
山口県健康福祉部厚政課	主幹	今津晴夫
山口県教育庁義務教育課	指導主事	佐野崇幸

(平成28年3月31日現在、◎は委員長、○は副委員長)

「地域福祉課題提言部会」部会員名簿

◎ 山口県立大学社会福祉学部	学部長	草平武志
○ 山口県立大学社会福祉学部	教授	坂本俊彦
山口県自治会連合会	副会長	岡本志俊
下関市豊城東自治会	自治会長	竹下明生
萩市江向三区町内会	民生委員・児童委員	山本初美
防府市右田地区上河原自治会	福祉員	長松勝郎
防府市社会福祉協議会	地域福祉係長	上田竜資
長門市社会福祉協議会	地域福祉班長	久保田正彦
山口県社会福祉協議会	事務局長	澤村有利生

(平成28年3月31日現在、◎は部会長、○は副部会長)

《事務局》

山口県社会福祉協議会	地域福祉部長	大倉隆雄
	地域福祉班主任	内田真利子
	地域福祉班主事	村田拓途
	地域福祉班主事	末永あすな

共同募金配分金事業
自治会・町内会区における福祉活動の実施状況調査

発行日 平成28年(2016年)3月31日
発行 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
〒753-0072 山口市大手町9-6
TEL083-924-2828
FAX083-924-2847
<http://www.yamaguchikensyakyo.jp/>



この事業は、共同募金の配分金により実施されています。